

まちが好き 共に生きて 笑顔あふれる やまつりまち

11

November
2024

令和6年11月1日発行
(毎月第1金曜日発行)
No.764

広報

やまつり

Public
Relations
Yamatsuri

【巻頭記事】(p2-3)

やまつりこども園秋季運動会

【まちの財政公表します】(p4-8)

令和5年度一般会計決算 他

【pickup topics】(p10)

矢祭中学校「並木丘祭(文化祭)」・
「並木丘杯スポーツフェスティバル」開催

【Health information】(p12-13)

令和6年度フレイル予防サポーター養成講座実施

【行政NAVI】(p14)

後期高齢者医療被保険者証
廃止のお知らせ

【地域おこし協力隊活動ダイアリー VOL.84】(p18-19)

Presenter 藤谷隊員・川瀬隊員・眞野隊員・畠山隊員



6



4



5



1

やまつりこども園秋季運動会

やまつりこども園秋季運動会が、令和6年10月5日（土）午前8時30分からやまつりこども園園庭において開催されました。

この日を待ち望んでいた保育部べんぎん組（2歳児）、幼児教育部（3～5歳児）の園児たちは、元気いっぱいな姿で入場しました。

開会式での紅白応援合戦の後、第1種目のデイズニータンからプログラムがスタートし、学年別の種目「よいいどん！」やリズム種目の「スマイル」「ダンスホール」「Bling・Bang・Born」、2歳児による「アリスのおつかい」、3歳児による「レッツ！スーパーマリオ」、4歳児による「ちびっこ忍者参上」、5歳児による「紅白リレー」など全14種目を行い、各種目において園児たちの笑い声や保護者の方の歓声がやまつりこども園園庭を包み込みました。



8



7



3



2

1. よーいどん！（3・4・5歳児・個人）
2. はじめのこぼれ（代表児童）
3. おおいのはどっち？（4・5歳児・団体）
4. 大玉ころがし（5歳児・親子団体）
5. ダンスホール（5歳児・リズム）
6. スマイル（3歳児・リズム）
7. 世界旅行へ出発だ！！（5歳児・個人）
8. レッツ！スーパーマリオ！（3歳児・個人）
9. Bling-Bang-Bang-Born（4歳児・リズム）



9

まちの財政を公表します

令和6年4月1日から令和6年9月末までの一般会計補正予算の主なものを掲載しました。

補正予算第1号（6月定例議会）
補正予算額 1億4,661万6千円

■歳出は、総務費において、臨時特別給付金費2,134万2千円を増額しました。昨年度に引き続き、令和6年度で新たに住民税が非課税となった世帯、均等割のみ課税となった世帯への調整給付金等を計上しました。

また、令和8年度の自治体システム標準化に向け、15事務についてプログラムの修正等を行う委託料2,554万2千円を計上しました。戸籍住民基本台帳費において、今年度の業務内容確定のため、1,146万2千円を減額しました。

■歳入は、国庫支出金において、デジタル基盤改革支援補助金2,086万5千円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,920万8千円を増額し

ました。県支出金においては、農林水産業費県補助金1,469万3千円を減額しました。農地利用効率化等支援交付金事業補助金1,491万8千円を減額しました。繰入金において、繰上償還を行うため、減債基金から7,756万7千円を繰入増額しました。

補正予算第2号（7月専決）
補正予算額 1,955万8千円

■歳出は、総務費において、福島県議会議員補欠選挙を執行するための経費555万円を計上しました。また、ユーパル矢祭温泉ポンプ故障交換工事費1,380万円を増額しました。過負荷による温泉ポンプの経年劣化により使用できなくなり、緊急交換工事を行うため計上しました。

■歳入は、県支出金において、東白川郡選挙区選出の福島県議会議員辞職に伴い、福島県議会議員補欠選挙委託金554万9千円を事業費に合わせ増額しました。また、前年度繰越金1,380万1千円を増額しました。

補正予算第3号（9月定例議会）
補正予算額 2億2,066万円

■歳出は、総務費において、調整給付金を支給するにあたり、臨時特別給付金費3,747万7千円を増額しました。財政調整基金への積立金4,200万円、減債基金への積立金1億円を計上しました。児童福祉費において、児童手当制度改正システム改修業務委託料431万8千円、12月支給からの児童手当拡充に伴うシステム改修費他を計上しました。道路橋梁費におい

て、補助金が大幅減のため工事を翌年度以降に繰り下げるため道路橋梁等工事費2,560万円を減額しました。教育費において、地域活性化起業人事業負担金制度によるICTアドバイザー派遣が終了となるため、新たにCIO補佐官制度により引き続き学校関係に携わりながら、伴奏型でICTアドバイザーを育成し、今後の自立を支援していくため、教育CIO補佐官委託料305万円を増額しました。

■歳入は、国庫支出金において、普通交付税1億1,332万7千円を内示額に合わせて増額しました。給付金及び事務費に充当する補助金3,956万6千円、子ども子育て支援事業費補助金410万5千円を増額しました。また、社会資本整備総合交付金1,100万4千円を減額しました。県支出金において、先駆的健康づくり実施支援事業費補助金118万7千円を増額しました。

財政状況は健全と判断

令和5年度指標は令和4年度指標を維持

町の財政状況を知っていただくために、毎年5月と11月に広報にて公表しています。今回は、令和5年度健全化判断比率と一般会計決算についてお知らせいたします。

5年度健全化判断比率等の公表

「財政の健全化に関する法律」に基づき、公表が義務付けられた矢祭町の財政指標は下記のとおりです。

■健全化判断比率 (単位：%)

指標名	矢祭町の比率 (3ヵ年平均)		早期健全化基準	財政再生基準
	令和5年度	令和4年度		
実質赤字比率	—	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	—	20.00	30.00
実質公債費比率	3.6	3.9	25.00	35.00
将来負担比率	—	—	350.00	

*実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は「—」が記載されます。

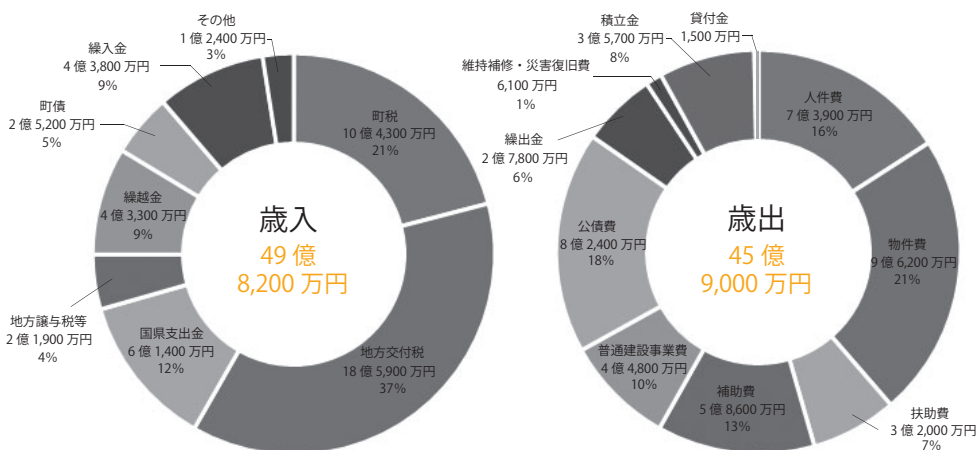
■資金不足比率（公営企業会計） (単位：%)

会計名	矢祭町の比率		経営健全化基準
	令和5年度	令和4年度	
水道事業特別会計	—	—	20.00
農業集落排水処理事業特別会計	—	—	20.00
工場団地造成事業特別会計	—	—	20.00
宅地造成事業特別会計	—	—	20.00

*資金に不足がない場合は「—」が記載されます。

◆上記2つの表のとおり、本町の各指標はいずれも国の基準を下回っております。また、令和5年度指標は令和4年度指標から微減であり、引き続き財政状況は健全に運営されているものと判断できます。

令和5年度一般会計決算状況



◆町人事行政の運営等の状況を公表

「地方公務員法」及び「矢祭町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数・給与・勤務条件・定員管理などについてお知らせします。

Ⅱ 職員の任免及び職員数に関する状況

■部門別職員数の状況と主な増減理由(令和6年4月1日現在)

区分 部門		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		令和5年	令和6年		
一般行政 部門	議 会	1	1	0	
	総 務	13	13	0	
	税 務	4	5	1	新規採用による増
	民 生	9	7	▲ 2	異動による減・昨年度計上誤りによる減
	衛 生	3	5	2	保健師採用による増・異動による増
	農林水産	6	5	▲ 1	昨年度計上誤りによる減(土木部門へ)
	商 工	1	2	1	異動による増
	土 木	4	6	2	新規採用による増・昨年度計上誤りによる増(農林水産部門より)
特別行政 部門	小 計	41	44	3	
	教 育	15	16	1	異動による増
公営企業等 会計部門	小 計	15	16	1	
	水 道	1	1	0	
	下 水 道	0	0	0	
	そ の 他	3	3	0	
	小 計	4	4	0	
合 計		60 [75]	64 [75]	4 [0]	

※1 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者・派遣職員などを含み会計年度任用職員または非常時の職員は除いてあります。
※2 []内は条例定数の合計です。

■定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

区分 部門		28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
一般行政	職員数	54	51	55	52	53	57	57	56	60
公営企業等	職員数	8	8	6	5	4	4	4	4	4
計	職員数	62	59	61	57	57	61	61	60	64

■職員の分限及び懲戒処分の状況(令和5年度)

分限処分			懲戒処分			
休職	降任	免職	戒告	減給	停職	免職
1	—	—	—	—	—	—

■職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の勤務時間	38時間45分
執 務 時 間	午前8時30分～午後5時15分
休 憩 時 間	正午～午後1時
勤務条件の状況	指定された職員のみ 下記の窓口交替勤務あり 昼▶正午～午後1時 夕▶午後5時15分～午後6時45分

Ⅱ 町の財政(令和5年度一般会計決算)を
年収400万円家庭の家計簿に置き換えると

支出			収入		
義務的経費	食費等の生活費 【人件費】	636,255 円 (15.9%)	自主財源	給料 【町民税・使用料など】	1,041,926 円 (26.0%)
	医療費・学費 【扶助費】	275,364 円 (6.9%)		貯金の取崩し 【繰入金】	351,798 円 (8.8%)
	ローン返済 【公債費】	710,077 円 (17.8%)		前年度から持っていたお金 【繰越金】	347,653 円 (8.7%)
投資的経費	家や車庫の建築 【建設事業費】	351,272 円 (8.8%)		貯金利子など 【雑入等】	70,568 円 (1.8%)
その他の経費	光熱水費・通信費 【物件費】	909,198 円 (22.7%)	依存財源	親などからの援助 【地方交付税・ 国県補助金など】	1,985,921 円 (49.6%)
	町内会費・寄附金 【補助費等】	504,884 円 (12.6%)		銀行などからの借入 【町債】	202,134 円 (5.1%)
	家や車の補修費 【維持補修費・災害復旧費】	52,889 円 (1.3%)	※イメージしやすいように町の経費を置き換えています。 (金額下は構成比)		
	子どもへの仕送り 【繰出金】	239,553 円 (6.0%)			
	貯金など 【積立金・貸付金】	320,508 円 (8.0%)			
支出合計		4,000,000 円 (100%)	収入合計		4,000,000 円 (100%)

Ⅱ 令和5年度特別会計決算

■みなさんの生活に直結した事業を特別会計・企業会計で行っています

会計名	歳入	歳出	事業内容
国民健康保険特別会計	5億6,895万3千円	5億5,352万3千円	国保世帯数▶716世帯 被保険者数▶1,107人
工場団地造成事業特別会計	127万1千円	102万8千円	造成地の草刈等
宅地造成事業特別会計	2,055万6千円	1,429万4千円	総区画数▶274区画 ▶分譲済区画数233区画
農業集落排水処理事業特別会計	3,783万5千円	3,212万7千円	排水人口▶381人 排水区域面積▶0.57㎢
介護保険特別会計	6億7,095万1千円	5億7,496万4千円	要介護認定者数▶308人 在宅介護サービス利用者数▶2,621人／12か月 施設介護サービス利用者数▶955人／12か月
後期高齢者医療保険特別会計	1億5,493万円	1億5,477万1千円	被保険者数▶1,147人
霊園事業特別会計	46万9千円	33万円	総区画数▶40区画 貸出中区画数▶26区画
水道事業会計	収益的収入	資本的支出	給水世帯数▶1,955件 人口▶4,843人
	1億4,584万7千円	7,998万3千円	給水普及率▶92.7%



大子町

平成26年1月、栃木県(大田原市・那須塩原市・那須町・那珂川町)・福島県(棚倉町・矢祭町・高町)・茨城県(大子町)の2市6町による「八溝山周辺地域定住自立圏」が形成されました。圏域の地域活性化につなげる取り組みの一環として、圏域市町のPR情報をお届けします。



大子温泉やみぞホテル

YAMIZO バレルサウナ

茨城県久慈郡大子町矢田524-2 TEL 0295-72-1511 (8時~20時)



小屋の中は
八溝材ヒノキの 香りに
包まれている...



久慈川のせせらぎで
ととのいレベルが
あがった!



いやし しかない...
ただの せいたくの
ようだ。

- 1枠2時間4人¥10000(税込)
- ※追加料金で最大6人
- ◆貸切◆事前予約制
- ◆セルフプロフェッショナル◆水風呂完備
- ◆サウナハット・ボンチョ貸出可
- ◆大子温泉やみぞ大浴場利用可

利用時間帯

- ◆10:00~12:00
- ◆12:30~14:30
- ◆15:00~17:00



大子温泉やみぞホテル
(サウナホームページへの扉)

<https://www.yamizo.com/barrel-sauna/>

Ⅱ 職員の給与の状況

■人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (令和5年度末)	歳出額	実質収支	人件費	人件費率	※参考 令和4年度の人件費率
令和5年度	令和6年3月31日現在 5,222人	45億8,810万4千円	2億8,265万3千円	7億3,564万3千円	16.03%	15.85%

※人件費には、特別職に支給される給料・報酬等が含まれています。
決算統計の数値を用いています。

■職員給与費の状況(普通会計予算)

区分	職員数	給与費				1人当たりの給与費	※参考 令和5年度の平均 1人当たりの給与費
		給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計		
令和6年度	60人	2億1,225万円	4,004万3千円	8,486万1千円	3億3,715万4千円	561万9千円	568万1千円

■職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和6年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	38.50歳	317,805円	344,217円

■職員の初任給の状況(令和6年4月1日現在)

区分	初任給	2年後の給料
一般行政職	大学卒	200,500円
	高校卒	169,900円

■一般行政職の級別職員数の状況(令和6年4月1日現在) *指導主事除く

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事・保健師・看護師・管理栄養士・保育士・教諭・養護教諭・学芸員	11人	18.6%
2級	主任主事・保健師・看護師・管理栄養士・保育士・教諭・養護教諭・学芸員	15人	25.4%
3級	主査・主任保健師・主任看護師・主任管理栄養士・主任保育士・主任教諭・主任養護教諭・主任学芸員	15人	25.4%
4級	主任主査・主任保健師・主任看護師・主任管理栄養士・主任保育士・主任教諭・主任養護教諭・主任学芸員	6人	10.2%
5級	主幹・やまづりこども園副園長・農業委員会事務局長・学校給食センター所長	6人	10.2%
6級	課長・会計管理者・議会事務局長	6人	10.2%
	合計	59人	100%

■期末手当・勤勉手当(令和5年度)

令和5年度支給割合					
期末手当			勤勉手当		
6月	1,200月	2.45月	6月	0.975月	2.00月
12月	1,250月		12月	1.025月	

加算措置の状況
職制上の段階、職務の級等による加算措置
役職加算5~15%

■特別職の報酬等の状況(令和6年4月1日現在)

区分	給料月額等	議 長	令和6年度支給割合見込	計 3.3月分
給 料	町 長	523,000円	6月期 1,650月	計 3.3月分
	副町長	523,000円	12月期 1,650月	
	教育長	523,000円		
	議 長	300,000円		
報 酬	副議長	227,000円		計 3.3月分
	議 員	208,000円		
	議 員	208,000円		
期末手当	町 長	令和5年度支給割合 6月期 1,625月 12月期 1,725月	計 3.35月分	計 3.3月分
	副町長			
	教育長			

■職員の研修の状況(令和5年度)

区分	受講者数
ふくしま自治研修センターの研修	15人
その他の研修	10人
計	25人

■職員の福祉の状況

職員の安全を確保し、健康の保持推進を図るため、定期健診(生活習慣病健診・乳がん検診・子宮がん検診)人間ドック等健診及び歯科指導等の健康指導を実施しています。

ふくしま駅伝矢祭町チーム選手紹介

【令和6年11月17日（日）午前7時40分 しらかわカタールススポーツパーク陸上競技場 START】



また、同月19日（土）に開催された矢祭中学校「並木丘祭（文化祭）」では、第Ⅰ部学習発表（ピアノ連弾、文化部によるCM発表やビデオバトル）、第Ⅱ部総合発表（各学年ごと）、第Ⅲ部有志発表（全7組）、第Ⅳ部合唱コンクール（各クラスごと）が行われ、各クラスが一丸となって同じ目標に臨む姿に来場者からは大きな拍手が送られました。



矢祭中学校「並木丘祭（文化祭）」・並木丘杯スポーツフェスティバル」開催

令和6年10月11日（金）に開催された矢祭中学校「並木丘杯スポーツフェスティバル」では、校庭にて「ハリケーン」、「借り物競争」、「玉入れ」、「全員リレー」が行われました。



レスリング全国3位入賞

佐賀県において開催された2024国民スポーツ大会の少年男子レスリンググレコローマン55kg級で矢祭町出身の檜山博也さん（花咲徳栄高校1年）がトーナメント戦を勝ち抜き、3位入賞を果たしました。



東北大会・全国大会出場報告

年中夢球杯2024、オールジャパンベースボールリーグ、2024ポップアスリートカップで優勝し全国大会へ出場する鈴木雄翔さん、東日本都道府県小学生陸上競技交流大会の1,500m競技で2位入賞した古張球さん、県中体連陸上競技大会東北大会の四種競技で7位入賞の本田大翔さんが佐川町長に大会の結果を報告しました。

県庁までの16区間を26選手で挑む

今大会で36回目となる市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）。今年で35回目のエントリーとなる矢祭チームの選手・スタッフ・実行委員は、11月17日（日）の大会本番に向けて学校や仕事の後に集まり、矢祭中学校グラウンドやロードなどで練習に励んでいます。

今年のチームも中学生選手が多く、今回から新たに加入した選手が刺激となり、良い競争関係が生まれています。ベテランの一般選手も、なかなか練習には参加できないながら、これまでの経験や大会に対する想いを後輩選手にうまく伝え、チームを活性化させてくれています。

今年も目指すは町の部入賞。故郷の誇りとチームの伝統を胸に、県庁への道を全力で駆け抜け、1本の襷をつなぎます。

大人も子どもも気をつけたい感染症「風しん」

風しんは、風しんウイルスによって起こる感染症で、飛沫感染や接触感染によって広まります。子どもは発熱や発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れ、数日で治ることがほとんどですが、まれに高熱や脳炎になって入院することもあります。大人が発症すると、高熱・発疹の長期化、関節痛など重症化することもあります。ご自身やご家族、周囲の方たちへ感染させないためにも、抗体検査や予防接種の機会がある方は積極的に受けましょう。

【妊娠中は特に注意】

先天性風しん症候群（CRS）とは、免疫力が低い妊婦が妊娠初期に風しんに感染し、胎児が風しんウイルスに感染することによって、生まれてくる赤ちゃんに心疾患や難聴などの障害を起こす病気の総称です。

【45歳から62歳の男性は抗体検査を受けましょう】

1962年4月2日から1979年4月1日生まれの男性は、過去に定期予防接種の機会がなかったため風しんにかかったことがない方は免疫を持っていない可能性が高く、風しんにかかりやすく更に周囲に感染を広げてしまう恐れがあります。対象の方には町から風しんの抗体検査と予防接種が受けられるクーポン券が届いていますので、積極的にご利用下さい。

【お子さんの定期予防接種は2回です】

定期予防接種の対象者（第1期）▶1歳から2歳になるまでの間、第2期▶小学校入学前1年間）

予防接種を受けることが最も有効な予防法です。忘れずに予防接種を受けましょう。

【問い合わせ】

町民福祉課健康づくりグループ 46-4581

介護予防教室『わんあっぷ』開催のお知らせ

体幹筋力トレーニング

【日程】
11月15日（金）

【講師】
菊地健太氏
株式会社はなひろ
理学療法士



【内容】
①衰えていませんか？ 腹筋・背筋
②どうやったら筋力がつくの？
③自宅のできる体幹トレーニング

会場▶保健福祉センター大会議室／定員▶各回先着40名（各20名単発申し込み）

開催時間▶13時30分～15時（途中休憩あり）／持ち物▶飲み物、動きやすい服装、タオル、やまっぴーカード

参加申し込み・お問い合わせ▶保健福祉センター町民福祉課健康づくりグループ（担当▶生田目）☎46-4581

※お申し込みは先着順となります。また、参加費は無料です。

※送迎が必要な方は、事前にご連絡をお願いします。

腰痛対策

【日程】
11月29日（金）

【講師】
武藤有貴氏
株式会社はなひろ
理学療法士



【内容】
①腰痛の原因とは？
②普段の生活で気をつけることは？
③ストレッチ＆筋力トレーニングの実践

令和6年度フレイル予防サポーター養成講座実施

フレイルとは、健康と要介護・寝たきりの間を指し、「加齢により心身が老い衰えた状態」のことをいいます。早めに適切な対策を行うことで、進行を防ぎ、健康寿命を延ばすことに繋がります。フレイル予防に関する理解を深めて、ご自身の健康と地域のために活動する方を募集します。申込は11月29日までに保健福祉センター（46-4581）にお電話ください。

日時(13:30~15:00)	内容	実施場所
12月6日（金）	「フレイルとは」 矢祭町の現状、高齢期の特性	矢祭町保健福祉センター
12月20日（金）	「フレイル予防の運動について」	
1月16日（木）	「高齢者の口腔機能について」	
1月30日（木）	「高齢者の栄養について」	
2月13日（木）	「フレイル予防実践に向けて」	

11月20日は『世界 COPD(慢性閉塞性肺疾患) デー』

毎年11月の第3水曜日は世界 COPD デーです。COPD とは、肺への空気の通りが悪くなり呼吸がしにくくなる病気です。主に長期間の喫煙により発症することから「肺の生活習慣病」とも言われています。重症化すると呼吸困難となり、常時酸素吸入が必要となることもあります。年齢のせいだと思っている「息切れ・咳・痰」をそのまま放置しないで呼吸器内科を受診してください。

COPD の予防・治療で最も大切なことは、「禁煙」です。一度悪化してしまった肺の機能は、完全に元の状態に戻すことは困難とされていますが、病気の進行を遅らせたり、和らげたりすることはできます。



▲福島県禁煙外来情報



八溝山周辺地域定住自立圏事業『保健福祉セミナー』開催

子育て支援・健康増進を目的として、保健福祉セミナー（2部制）を開催します。

【第1部 子育て支援セミナー（子どもの権利、子育て支援について）】

講師▶穴戸良子氏（作新学院大学女子短期大学部准教授）

【第2部 健康セミナー（子どものためのスポーツ栄養学）】

講師▶大津智仁氏（とちぎスポーツ医学センター公認スポーツ栄養士）

【共通事項】

日時▶12月15日（日）14時～16時15分（第1部14時開始、第2部15時15分開始）

場所▶那須与一伝承館多目的ホール（大田原市南金丸1584-6）

定員▶各部160名程度

費用▶無料

申込方法▶11月11日（月）～12月6日（金）に大田原市ホームページのオンライン申請フォームから申し込み

※詳細は大田原市ホームページをご覧ください。子育て支援セミナーに関すること：大田原市保育課 ☎0287-23-8601、健康セミナーに関すること：大田原市健康政策課 ☎0287-23-8704

後期高齢者医療被保険者証
廃止のお知らせ

令和6年12月2日で現行の被保険者証は廃止され、マイナ保険証（保険証利用登録がされたマイナンバーカード）を基本とする仕組みに移行します。令和6年12月2日以降、新たに被保険者になる方、資格情報に変更がある方、紛失等による再発行の方には、被保険者証の代わりに「資格確認書」を交付します。

令和7年7月までの暫定的な運用

これまで、被保険者証の廃止後の対応について、マイナ保険証を持っている方には「資格情報のお知らせ」、マイナ保険証を持っていない方には「資格確認書」を交付する旨周知してきましたが、後期高齢者医療制度の暫定的な運用として、令和6年12月2日から令和7年7月までの期間は、マイナ保険証を持っていない、持っていないにもかかわらず、一律「資格確認書」を交付することとなりました。有効期限が令和7年7月31日までの被保険者証（ピンク色）をお持ちの方、被保険者証（ピンク色）の記載内容

に変更がない限り、引き続き有効期限まで医療機関等でご利用いただけます。

令和6年12月2日以降に75歳年齢到達等で新たに被保険者になる方

「資格確認書」を交付します。

【資格確認書とは】

●従来の被保険者証の代わりになるもので、医療機関等の窓口で提示することで従来の被保険者証と同じように受診できます。

●被保険者証と同一のはがきサイズです。

●資格確認書は本人の申請によらず交付します。

●被保険者証廃止後に、従来の被保険者証の記載内容に変更が生じたり、被保険者証を紛失した場合は、「資格確認書」を交付します（紛失により交付を受ける場合は申請が必要です）

問い合わせ

町民福祉課福祉保険グループ ☎46・4573

児童手当制度改正の
お知らせ

令和6年10月分（令和6年12月支給分）から児童手当の制度が一部変更になります。改正内容

①支給対象児童が高校生年代まで延長されます。

②第3子以降の支給額が3万円になります。

※保護者に経済的負担がある22歳年度末（22歳到達後最初の3月31日）までのお子さんから年齢順に数え、3人目以降が高校生年代以下の児童となる場合

③所得制限が撤廃されます。

④支給回数が年3回から年6回（偶数月）になります。

申請が必要な方

①所得上限限度額以上の所得があるため、支給対象外となっている方

②高校生年代の児童のみ

養育している方

③現在、児童手当を受給していて、算定児童に登録されていない高校生年代の児童を養育している方

④現在、児童手当を受給していて、大学生年代のお子さんを合わせて3人以上養育している方

申請期限

令和7年3月31日

※公簿等の確認を行い、申請が必要の方へ通知を送付しています。公簿等で確認できない場合もごさいますので、申請の確認についてはお問い合わせください。

問い合わせ

町民福祉課福祉保険グループ ☎46・4573

税金は納期限までに納めましょう

11月から12月は滞納整理強化期間です



皆様が収めた税金は、行政サービスを進めていく上での貴重な財源となり、皆様の暮らしの中に活かされています。税負担の公平性及び税収入を確保するため、矢祭町では11月から12月を滞納整理強化期間として徴収対策を進めています。

税金を納めないとうなるの？

税金は、定められた納期限までに、納税者が自主的に納めていただくことになっております。納期限を過ぎた場合は、本来の税額に延滞金を加算して納付していただくことになるほか、納期限内に納められた方との公平性を保ち、町の租税債権を保全するため、「滞納処分」を行います。

滞納処分

滞納処分とは、税金を滞納している人（滞納者）の意思に関わらず、滞納になっている税金を強制的に徴収するため、その人の財産を調査、搜索し、換価できる財産がある場合は、その財産を差押え、換価し、滞納になっている税金に充てる一連の手続きをいいます。

督促

納期限までに納付されない場合、督促状を送付します。督促状は、納期限から20日以内に送付されます。この督促状が発送された日から起算して10日を経過した日までに滞納者が自主的に完納しない場合は、地方税法第331条の規定で「滞納者の財産を差押えなければならない」とされています。

財産調査

督促状を送付しても納付がない場合は、差押可能な財産の有無を確認するために、官公庁・金融機関・勤務先・取引先・滞納者の財産を占有する第三者に対して調査を行います（対象財産：給与、預貯金、生命保険、不動産、動産、自動車、各種債権など）。また、財産の発見、差押などの必要がある場合、滞納者やその関係者の住居を相手方の意思に関係なく搜索することがあります。これらの調査や搜索は、国税徴収法第141条および第142条から第147条の規定に基づき、滞納者に事前に了承を得ずに行います。

納税相談について

災害、病気や失業、事業の休廃業により収入が著しく減少したなど、一時的に納期限までに納付が困難となるやむを得ない理由がある方は、「払えないから」とそのままにせず、必ず自立総務課滞納整理グループにご相談ください。

お問い合わせ先

自立総務課滞納整理グループ ☎0247-46-4572

～婚活イベント情報～ 11月号

2時間でモテる男に

福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）コミュニケーション能力アップ、自己紹介シート作成など
日時 ▶ 令和6年11月23日（土）14時～16時
場所 ▶ 大正ロマンの館（矢吹町本町161-7）
対象 ▶ 20～40代の独身男性（12名程度）
参加費 ▶ 500円
主催 ▶ 「ふれあいの場」創出事業実行委員会
締切 ▶ 11月13日（水）
※詳しくは「矢祭町結婚支援室」にお問い合わせください

「おしゃべりカフェ」Open

「ハッピー＆スマイル研究会」心理学セミナー＆手づくりランチ（毎回テーマが変わります）
日時 ▶ 11月24日（日）午前10時～
「おしゃべりカフェ」
談話・ジェルネイル・スキンケア無料体験・手相占いなど自由な時間が楽しめ、参加者同士の会話が弾みます
日時 ▶ 11月13日（水）午後3時～8時
日時 ▶ 11月24日（日）午後1時～4時
場所 ▶ いずれも「リフレッシュふるさとランド」
開催予定 ▶ 12/1（日）・12/4（水）・1/15（水）・1/19（日）



～えにし～
(41)

人と人を結ぶ
えにしづくりの
きっかけを



おしゃべり
カフェ情報

結婚したいあなたを福島県が応援します

結婚マッチングシステム「はぴ福なび」

「はぴ福なび」は、福島県が導入した紹介型のマッチングシステムです。婚活を真剣に希望する男女の出会いを応援するオンライン型のシステムで、ご紹介の他にも会員限定の交流会やセミナー等も行ってあります。登録料10,000円（2年間）、月会費・紹介料などは無料です。福島県内にお住まいの方、近い将来福島県に移住を希望の方で誠実に結婚を希望する20歳以上の独身男女が対象です。

【矢祭町結婚支援室】

リフレッシュふるさとランド内
☎46-4884
E-mail ▶ yamatsuri.project@gmail.com
(E-mail での相談可)

詳しい内容はQRコードまたは矢祭町HP「婚活イベント」で確認できます。



佐川町長

全国訪問記

佐川町長の公務の都合により不定期で掲載



第63回東北地方治水大会

10月15日（火）、山形県山形市において第63回東北地方治水大会が開催され、出席した佐川町長は「田んぼで洪水は防げるかー環境変動下における田んぼダムの役割ー」を演題とした特別講演などをおとして、水害から国民の生命、財産を守り、安全で快適な生活環境の確保を図るための治水事業の重要性を再認識しました。



福島県人口減少危機対策セミナー

10月9日（水）、福島市において福島県人口減少危機対策セミナーが開催され、出席した佐川町長は「福島県企業が福島県の未来を救うー四半世紀で出生数半減はなぜ起こったのかー」を演題とした基調講演やパネルディスカッションなどをおとして、人口減少対策についてさらなる理解を深めました。



第49回すみだまつり物産展

10月5日（土）及び6日（日）に東京都墨田区で開催された第49回すみだまつりの視察に訪れ、物産展に出店した矢祭もったいない市場でのPRを行いました。また、墨田区長をはじめ区議会議員の方々に出店のお礼の挨拶と今後の交流について意見を交わしました。



那須町町制施行70周年記念事業

9月29日（日）、栃木県那須町を訪れた佐川町長は、那須町町制施行70周年記念事業の一環として実施された記念セレモニーに出席するとともに同会場で開催された那須九尾まつりの様々なイベント等を観覧しました。また、会場に訪れた那須町の平山町長らと意見交換を実施しました。



農業法人サラダボウル表敬訪問

10月25日（金）、静岡県小山町において佐川町長は農業法人サラダボウルが展開する富士のふもと農園を訪れ、葉菜類を栽培する世界最先端の大規模グリーンハウスを視察し、農業法人サラダボウルも提唱する「農業の新しいカタチを創る」ことについて理解を深めました。



大田区長表敬訪問

10月24日（木）、東京都大田区において大田区長を表敬訪問した佐川町長らは、町発展に向けた関係人口及び交流人口の拡大等に係る地域同士の連携強化や今後の矢祭もったいない市場の出店などについて意見交換を行いました。また、城南信用金庫の林理事長らも同席しました。



国道349号の整備促進を求める要望書提出

10月2日（水）に衆議院議員会館、10月10日（木）に福島県庁を訪れた佐川町長、矢祭町東部地域整備促進期成同盟会会長らは国、県、県議会に対して宝坂字川岐と宝坂工区の早急な改良整備など国道349号の整備促進を求める要望書を提出しました。この区間は幅員が極めて狭いところや急カーブなど未改良の区間が多く取り残されていることから、安全で円滑な通行の確保と物流拠点・交流拠点とのアクセスの強化、円滑な広域交流による関係人口の拡大や非常時における道路ネットワークの確保などに必要な道路です。



矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは8名。各メンバーは、JR 水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！

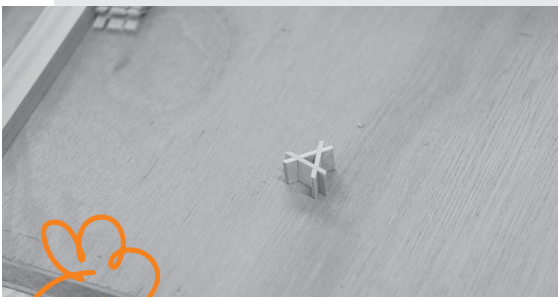
Volume.84

2024.11Update

矢祭町地域おこし協力隊

活動ダイアリー

Let's go!



読書の町づくり担当、地域おこし協力隊の畠山です。今年の4月に着任してから早いもので、もう半年が経ちました。あんなにいたカエルもだいぶ数が減ってきて、すこし寂しい気もします。この半年で企画を何回か協力隊で立ち上げさせていただき、町の人との交流も増えてきました。

最近では以前見学に伺ったご縁があり、カナザワ建具店さんで組子の体験と作品の見学をさせていただく機会がありました。精巧な作品や、組子の技術や扱う木材についてとても興味深いお話を伺いました。体験し、話を聞いた後だとまた違った視点で組子を見ることができ、知ることはやっぱり面白いと実感しました。自分が知らないだけで、まだまだ矢祭にはすごい技術を持った人がいるのかもしれない。もっと町の人を知ってみたいです。

ここ数か月は新しい体験や考えることが多かったためか、「本を通じたまちづくりで、自分には何ができるだろう?」とあらためてぐるぐる悩んでいます。自分の中でだけでなく、町との関りで答えを探していきたいです。

こんにちは、読書の町づくりを担当している眞野です。最近はずっと涼しくなってきましたね！寒がりなので、朝はマフラーが必需品となりつつあります。

さて先月はマルシェや丸安さんとのコラボイベントなど盛り沢山の月でした！お陰様で一ヶ月があったという間、充実しております。

マルシェでは私は、本に関するボードゲームを行いました。人狼ゲーム(ワードウルフ)が子供たちに人気でしたね！一人だけ違うお題について話す、という状況で人狼が上手く立ち回っていました。ルールについて説明するまでもなく、むしろこちらが「どうやったら勝てるの?」と教えて欲しいくらいの見事な試合運びでした。またブースの名前も、こういったゲーム等が読書のきっかけとなるように「Book Hub」としました。「この本、ゲームで名前聞いたな」と手に取る理由になれば幸いです。今月は元氣祭にお邪魔させていただきました。新しい企画や試みもあるので、是非ごゆるりとお楽しみください！

形体造形における端正さは、明晰な静けさを感じさせますし、表現技法における特異性また独創性は、他を比較参照して作り上げたものではなく、むしろ自らの内奥へ、静かに分け入ってたり着いた表現であると考えています。豊田六之助の、うつわの世界における沈黙と孤独は、精神主義的な理想ではなく、作品の成立に根源的にかかわる行動の様態であったといえます。

- ①本質を端的に表現する単純性、端正な均整
- ②抑制された装飾、質感への求心的な探究、独創的な技術と手法の自覚
- ③制作と需要の謙虚な親和性。

地域おこし協力隊活動の最終年として、令和3年の展覧会に次ぐ展示を計画していましたが、作品の鑑賞がまだ薄いことをかんがみて、展示することよりも先ずは、手元焼の特徴や美点などの価値を、表現することから始めなくてはならないと考えようになりました。

上記した意義の項目を文章で説明することが、手元焼調査の目的で成果と考えました。この創作世界を実作的な視点も含めて掘り起こすことにより、鑑賞する方策を模索し、手元焼を地域の文化財として活用する方向性を探っていきます。

こんにちは！場づくり担当の藤谷です。10月の活動報告です。

まず10/5(土)は東館駅前にて「ひがしだてマルシェ」を開催しました！駅前のスペースにお店やキッチンカーが並び、一人一人の顔も見ながらゆっくりお話しができる、そんなアットホームで温かい雰囲気のマールシェになりました！

次に10/9(水)には栃木県の協力隊に向けた「情報発信セミナー」があり、私たちは「Instagramでの情報発信の仕方」を講師となって発表しました。40分という持ち時間で日々感覚的にやっている事を言語化して分かりやすく伝えることが難しく、資料作りも苦労しましたが、無事終了時の達成感はとても大きかったです！さて最後10/20(日)はスポーツ振興の鳴瀬隊員とのコラボ企画「第2回ハロウィン×ウォーキング」を開催しました！参加者総勢118名が仮装して矢祭町内の18店舗をまわりお菓子を貰いながら1時間ほど歩きます。このイベントは店舗様のご協力があった開催できるものです。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！！

畠山 青畝 Seiho Hatakeyama

読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。

眞野 夏凜 Karin Mano

読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に就任。読書、音楽を聴くのが好き。最近backnumberばかり。

川瀬 孝之 Takayuki Kawase

文化財振興担当

静岡県浜松市出身。前職は書道用品店経営。趣味は、音楽鑑賞とお茶など。

藤谷 麻莉 Mari Fujiya

地域の場づくり担当

福島県いわき市出身。前職はアパレル関係。食べ歩き、登山、ピアノ、水泳が趣味。

LIBRARY LETTER

図書館だより

秋の夜長には読書がいちばん！
読み応えのある長編小説に挑戦してみたいかが？

Text & Design: 大羽未准 島山育哉(地域おこし協力隊)

シリーズものに
挑戦だ！

2024
11

PICK UP /

EVENT /

やまつり子ども園 柳田邦男さんおはなしかい



10月24日(木) やまつり子ども園にて柳田邦男さんおはなしかいを開催しました。空の写真に落書きしたり、たくさんの果物や植物を見て、触って感じたことをそのまま絵に描いたり、子どもたちが自分の感じるままに手を動かして楽しんでいました。さらに、「わたしのことり」という紙芝居を柳田先生に読み聞かせしていただきました。柳田先生のあたたかい雰囲気の中子どもたちは楽しい時間を過ごしていました。

- 11.7 THURSDAY**

2024.11.7 Thu. 10:00 - 12:00

あかちゃん／プレママ・プレパパ おはなしかい

もったいない図書館 特別書庫
- 11.17 SUNDAY**

2024.11.17 Sun. 10:00 - 11:00

11月出前おはなしかい

山野井・金沢文庫 茗荷文庫
- 11.21 THURSDAY**

2024.11.21 Thu. 10:00 - 12:00

大人のためのおはなしかい

もったいない図書館 特別書庫

RECOMMEND

**第16回手づくり絵本コンクール
受賞作品決定!!**

第16回手づくり絵本コンクールの受賞作品が決定しました！ 今年は188点の作品がもったいない図書館に届きました。受賞作品は図書館に展示しています。ぜひ手に取ってご覧ください。たくさんのご応募ありがとうございました！

INFORMATION ● 今月の休館日：毎週月曜日
※祝日開館(翌火曜日休館) お問い合わせ：矢祭もったいない図書館 ☎ 46-4646 FAX: 57-7500

まちの駅 やまつり

利用無料

休憩スペース

トイレ

営業時間

平日 8:30 ~ 17:00

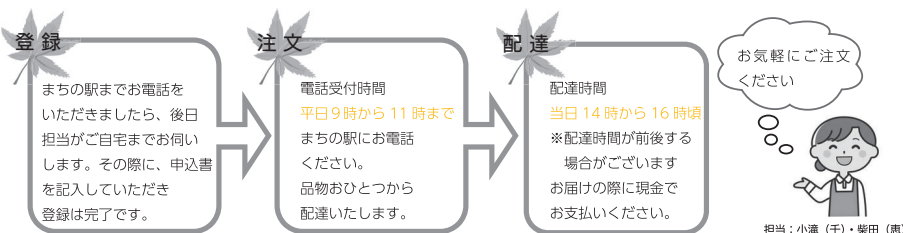
HP

Facebook

■休憩スペース (無料)
ちょっとした休憩やトイレ、フリー Wi-Fi の利用、コーヒー・紅茶等の無料提供、地域の観光案内、もったいない文庫の取り扱いも行っています。
待ち時間やお買い物の途中など、お気軽にお立ち寄りください。

【買ってくっぺ便】には、買い物代行と移動販売があります

■**買い物代行** お買い物にお困りの方はまちの駅やまつりまでお電話ください
町内で購入出来る商品を登録料・手数料無料でお届けします。



【問い合わせ】

まちの駅やまつり ☎ : 0247-57-5659 FAX : 0247-57-5660

■移動販売

●到着時間が前後する場合があります

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
★内川地区	★石井地区	★宝坂・追分地区	★下関・大井地区
・金澤 利光さん宅 (13:30頃)	・やまつりファーム (13:30頃)	・竹野内地区池の前 (13:30頃)	・中山ニュータウン (13:30頃)
・芳賀 きよ子さん宅 (14:00頃)	・下石井中野内地区 (13:45頃)	・古市園芸前 (14:10頃)	・沼田 ミチ子さん宅 (14:20頃)
・古市 勝弥さん宅 (14:10頃)	・和田 始子さん宅前 (14:00頃)	・鶴ヶ池バス停 (14:40頃)	・天神前バス停 (14:20頃)
・茗荷地区 (15:00頃)	・櫻の苑 (14:10頃)	・古市 文雄さん宅前 (15:00頃)	・古市理容室前 (14:30頃)
	・舟見地区 (14:30頃)	・追分地区 (15:15頃)	・佐川商店前 (14:50頃)
	・せせらぎ荘 (15:00頃)		・折屋 (15:40頃)

担当：鈴木 (尚)・菊池 (明) ※大雨、大雪の日は運行を休止する場合があります。また、予告なしに運行を休止する場合がございます。

俳句 ふきの芽句会

一年の過ぎし速さや朝の冷え
小野沢の川音をよかに秋深む

秋・雨・苔ふつくらの庭光る
晩秋の世直し叫ぶ時の声

川柳 山野井金沢鶴亀会

千代紙で鶴亀折ってお祝いを
朝起きて今日も元気だ茶が旨い

友と飲む新茶香りによい話
今日の運茶柱立てよと立て直す

日に三度茶ある暮らし望みたい
茶の香り賞でて頂きこの幸を

スミエ 通夫 原 タケ子 敏伸 千世子

短歌 矢祭町短歌会十月詠草

十五夜の「お月見下さ」と来るそのの
親しき笑顔は地域の宝

足もとの秋海棠は花盛り
風にゆれつつ秋は深まる

夕風に庭のコスモス揺れて咲く
姉の面影見え隠れして

金木犀の香りほのかにただよいて
秋の訪れしみじみ感ず

薬の田中に佇む白鷺に
今日の夕日はまだ暖かし

政党間のテレビ討論聞きおれば
皆真剣に激論交わす

松本 義勝 片野 盛好 片野 税子

地域の安全・安心のために

▶ 令和6年度矢祭町消防団秋季検閲

10月20日(日)、令和6年度矢祭町消防団秋季検閲が矢祭中学校校庭において挙行されました。全4分団17班及び役場消防隊が山村開発センター駐車場から矢祭中学校までを行進し、全団員による観閲、通常点検などを行ったのち部隊を解散しました。



これからも末永くお気で

▶ 高齢者町長慰問

10月21日(月)、令和6年度高齢者町長慰問が行われました。町長が各地域の民生委員や社会福祉協議会の職員とともに75歳以上1人暮らし高齢者、寝たきりの高齢者、90歳以上となった高齢者を対象に慰問品を贈呈しました。

おいしいお米を皆さんに食べていただきたい

▶ サイコロ米寄贈式

10月21日(月)、役場町長室においてJA東西しらかわの菊池教夫代表理事組合長らが来庁し、1袋300グラム(約2合)のサイコロ米(オリジナルブランドのみりよく満点コシヒカリ)500袋を寄贈しました。なお、寄贈されたサイコロ米はやまつり元気祭の来場者に配布いたします。



創業100周年を記念して

▶ 寄附受納式

10月23日(水)、役場駐車場内において寄附受納式が行われました。白河信用金庫の牧野富雄理事長らが来庁し、令和7年1月7日に創業100周年を迎えることを記念して、白河信用金庫よりトヨタ自動車の小型乗用車『アクア』1台が寄贈されました。

TOWN TOPICS



まちの話題

身近な情報を寄せてください。 自立総務課総務グループ
TEL 0247-46-3131 FAX 0247-46-3155



職場体験で中学生が収穫した新米を贈呈

▶ 新米寄附贈呈式

9月26日(木)、矢祭中学校校長室において新米の寄附贈呈式が行われました。9月11日及び12日に矢祭中2年生の職場体験で生徒が収穫した新米が(株)矢祭興産から職場体験を行った生徒2名と中学校に贈呈されました。なお、いただいた新米は給食センターで調理され、小中学校の米飯給食として提供されます。

CIO 補佐官に内村圭佑氏と浅井将史氏を任命

▶ CIO 補佐官委嘱状交付式

10月1日(火)、役場第1会議室において町の情報政策推進に関する提言等を行うCIO補佐官への委嘱状交付式が行われ、町CIO補佐官にAKKODiSコンサルティング(株)の内村圭佑氏、町教育CIO補佐官に同社の浅井将史氏が任命され、佐川町長より委嘱状が交付されました。



笠間市内の文化施設を巡る

▶ 歴史探訪バスツアー

10月6日(日)、矢祭ゆかりの偉人『吉岡良太夫』とともに咸臨丸で渡米した『小野友五郎』との由縁を機に、笠間市内の文化施設や史跡の見学を目的とした歴史探訪バスツアーが開催されました。32名の参加者は茨城県笠間市内の文化施設5ヶ所を巡り、笠間の文化や偉人たちの活躍、功績について理解を深めました。

議会だより



やまつり

第7回定例会 9月9日～13日

令和5年度全会計決算を認定！

9月定例議会は、9月9日から13日までの5日間の会期で開催され、初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて会計管理者、担当課長から議案の内容説明があり、藤田義広代表監査委員から決算審査意見書の報告が行なわれました。その後、議長発議による決算特別委員会の設置が提案され、全会一致で可決されました。2日目、3日目は一般質問で、議員8名が登壇し町に対して質問が行われました。4日目は決算特別委員会が開催され、一般会計及び7特別会計並びに水道事業会計の決算審査を行いました。5日目の最終日は議案審議が行われ、令和5年度一般会計及び7特別会計決算が認定され、令和5年度水道事業会計の剰余金の処分及び決算が可決及び認定されました。また、報告1件、専決処分報告2件、条例の一部改正5件、損害賠償の額の決定及び和解1件、工事請負契約の締結2件、町道路線の変更1件、白河地方広域市町村圏整備組合規約の改正1件、福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更1件、令和6年度各会計補正予算8件、人権擁護委員候補者の推薦1件の合計32件が原案のとおり可決・適任とされました。また、議員提出案件で意見書の提案2件が原案通り可決されました。



決算報告

令和5年度決算審査については、地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、町長より審査に付された令和5年度矢祭町一般会計外7特別会計の決算並びに各基金の運用状況及び諸帳簿、証書類について、藤田義広、本多勇也監査委員が、去る8月6日から9日までの4日間にわたり、決算資

料あるいは毎月行っている例月出納検査の資料を参考に、また、必要に応じて関係者の説明を受けるなど慎重に審査をしたところ、各会計とも計数等に誤りはなく、正確に処理されているものと認められ、本決算は適正なるものと認められました。

基金についても、それぞれの目的に従って適切に且つ効率的に運用されているものと認められました。

また、去る7月25日、地方公営企業法第30条第2項の規定により、町長より審査に付された令和5年度矢祭町水道事業会計の決算について、決算報告書、財務諸表、事業報告書、付属書



決算審議の様子

類あるいは毎月行っている例月出納検査の結果を踏まえ、また、必要に応じて関係者の説明を受けるなど慎重に審査をしたところ、計数等は正確であり、事業の経営成績及び財政状態は適正に表示されているものと認められました。

一般会計

歳入決算額は49億8,215万1,382円となり、予算現額に対して1億2,450万2,618円の減額となりました。歳出決算額は45億9,004万8,789円となり、予算現額に対して5億1,600万5,211円の不用額が生じ、この内2億3,970万3千円が繰越費となっており、実質的な不用額は2億7,690万2,211円となります。

歳入における自主財源の町税は、令和5年度末現在において2,179万5,306円の収入未済額（滞納額）が生じております。

決算認定

◎令和5年度矢祭町一般会計歳入歳出決算認定（認定第1号）

◎令和5年度矢祭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定（認定第2号）

◎令和5年度矢祭町工場団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定（認定第3号）

◎令和5年度矢祭町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定（認定第4号）

◎令和5年度矢祭町農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定（認定第5号）

◎令和5年度矢祭町介護保険特別会計歳入歳出決算認定（認定第6号）

◎令和5年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定（認定第7号）

◎令和5年度矢祭町霊園事業特別会計歳入歳出決算認定（認定第8号）

◎令和5年度矢祭町水道事業会計の剰余金の処分及び決算認定（認定第9号）

認定第1号から認定第8号は、去る8月1日から4日までの4日間、認定第9号は、去る7月25日に監査

特別会計

国民健康保険特別会計の国保税の収入未済額（滞納額）は、1,621万2,253円で、昨年度より405万9,559円の減額となっております。国保事業の円滑な運営を図る上からも、未収入額の徴収には、なお一層の努力を願います。

その他6特別会計は、一部の会計において収入未済額（滞納額）が生じており、いずれも事業運営の重要な財源であり、負担の公平性及び受益者負担の原則の観点からも滞納整理は重要な課題であります。基金については目的に従い、確実かつ効率的に運用されているものと認められました。

水道事業会計

営業収益は7,246万1,960円で、営業費用が1億2,219万7,332円となり、営業面にお

いては4,973万5,372円の赤字となっております。

しかし、営業外収益で一般会計補助金、長期前受金戻入、雑収入の合計6,618万5,149円を加え、支払利息及び企業債取扱諸費781万5,640円と雑支出3万5,429円を差し引くと、859万8,708円の経常利益となっており、当年度純利益は859万8,708円となっております。

水道使用料の未収金（滞納額）については、昨年度と比較し222万8,305円の増となっているが、令和4年度よりコンビニエンスストア収納及びスマートフォン決済による収納が増加し、これらの実際の収納日が後日となるため、決済締め切り日に収納できないものが多く含まれているとのことであるが、公平性及び受益者負担の原則の観点、また、水道事業の中で根幹をなすものであり、今後も未収金（滞納額）の回収には、更なる努力をお願いするものであります。

財政健全化判断比率

企業債については、令和5年度末残高は6億4,363万6,963円となっております。

今後も本来の目的であります公共の福祉の増進を推進するため、中長期的かつ経営状況を見据えながら、業務運営の推進を図り経営改善に資するよう、なお一層の努力を要望し報告とさせていただきます。

法律に基づき市町村では、毎年度決算のたび4つの健全化判断比率の公表が義務付けられています。町の決算では、実質、連結実質赤字比率とともに黒字で赤字額は発生していません。

実質公債費比率、将来負担比率は健全化判断基準を大きく下回り良好な財政の健全化が図られております。

令和5年度矢祭町財政健全化判断比率及び資金不足比率の審査についても適正に作成されております。

（要旨）

矢祭町代表監査委員

藤田 義広
矢祭町監査委員
本多 勇也

委員の審査に付しましたので、監査委員の意見を付し

て、議会の認定に付するものです。

令和5年度 基金別決算状況	
(単位:円)	
基金名	令和5年度末現在高
矢 祭 町 財 政 調 整 基 金	1,727,655,450
矢 祭 町 土 地 開 発 基 金	100,013,971
矢 祭 町 減 債 基 金	418,991,379
矢祭町21・ふるさと人づくり基金	102,862,109
矢 祭 町 ふ る さ と づ く り 基 金	21,180,252
矢 祭 町 地 域 振 興 基 金	63,869
矢 祭 町 福 祉 基 金	465,736,083
矢祭町ふるさと水と土保全基金	10,395,541
矢 祭 町 地 域 産 業 振 興 基 金	297,300,485
矢 祭 町 学 校 基 金	15,546,801
矢 祭 町 高 田 基 金	103,546,199
矢 祭 も っ た い な い 図 書 館 基 金	1,138,580
矢 祭 町 公 共 施 設 等 整 備 基 金	1,150,137,054
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	26,921,794
合 計	4,441,489,567

報

告

◎令和5年度矢祭町財政健全化判断比率及び資金不足比率(報告第3号)

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全化を促すため、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、健全化判断比率として実

専決処分

◎専決第4号 令和6年度矢祭町一般会計補正予算(議案第54号)

◎専決第5号 令和6年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(議案第55号)

いずれの会計も地方自治法第179条第1項の規定により、やむを得ず専決処分をしたので、同条第3項の規定により報告し承認を求めるものです。

令和6年度一般会計予算補正状況(専決第4号)			
(単位:千円)			
会計名	既定額	補正額	予算総額
一般会計	4,586,616	19,558	4,606,174

令和6年度各特別会計別予算補正状況(専決第5号)			
会計名	既定額	補正額	予算総額
後期高齢者医療保険特別会計	150,732	208	150,940

条例

◎矢祭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について(議案第56号)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例で引用していた法別表第2が削除され、特定個人番号利用事務と定義されたことから、本町において情報連携する事務を条例で明示する必要があるため、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(議案第57号)

スインピア矢祭における物品売上金の盗難に伴い、当該施設を管理運営する立場にあり、また、当該施設等の職員を指導監督する立場にある町長及び教育長の給料月額額の10分の1を1ヶ月間減額する規定を新たに

令における課税免除の適用期限を2年延長する改正に伴い、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

契

約

◎令和6年度滝川溪谷木橋四号橋・五号橋整備工事請負契約の締結(議案題62号)

令和6年8月30日、指名競争入札に付した「令和6年度滝川溪谷木橋4号橋・5号橋整備工事」について、工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

◎令和6年度道ヶ作堰土砂吐ゲート取替工事請負契約の締結(議案題63号)

令和6年8月30日、指名競争入札に付した「令和6年度道ヶ作堰土砂吐ゲート取替工事」について、工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

その他

◎損害賠償の額の決定及び和解(議案第61号)

スインピア矢祭における物品売上金の盗難に伴い、販売委託契約を締結している相手方に対して、損害を賠償する必要があるため、地方自治法第96条第1項第13号の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

◎町道路線の変更(議案第64号)

国道349号小田川2工区バイパスの供用開始に伴い、バイパスと接続する町道竹ノ内・仲町線の起点が変更となったことから、道路法第10条第2項の規定に基づく路線の変更を行うため、同法第10条第3項の規定により、議会の議決を求めるものです。

◎白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更(議案第65号)

本年度開始された森林環境税の賦課徴収に伴い、白河地方広域市町村圏整備組合においても、森林環境税を含む個人町県民税の徴収を可能にするための組合規約の変更が必要となり、地

補正予算

◎令和6年度矢祭町一般会計補正予算(議案第67号)

歳入における普通交付税、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、前年度繰越金、新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業助成金等の増、社会資本整備総合交付金、総務債等の減、歳出におけるユー・パル矢祭の指定管理料や財政調整基

金積立金、減債基金積立金、CIO補佐官委託料、個別予防接種委託料等の計上、及び定額減税・低所得者世帯臨時給付金、水道事業会計補助金等の増、パータタイム会計年度任用職員報酬、社会資本整備総合交付金が減額となったことに伴う道路橋梁等工事費等の減が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算(議案第68号)

歳入におけるシステム整備等補助金、及び前年度繰越金の増、歳出におけるシステム改修等業務委託料、国保基金積立金、予備費等の増が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町工場団地造成事業特別会計補正予算(議案第69号)

歳入における前年度繰越金の増、歳出における光熱水費の増が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算(議案第70号)

歳入における前年度繰越金の増に伴う、歳出における一般会計繰出金の増が主な補正の内容です。

追加するものです。

◎矢祭町税特別措置条例の一部を改正する条例(議案第58号)

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第24条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令における課税免除の適用期限を3年延長する改正に伴い、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例(議案第59号)

東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令における課税免除の適用期限を延長する改正に伴い、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例(議案第60号)

地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省

◎令和6年度矢祭町介護保険特別会計補正予算(議案第71号)

歳入における前年度繰越金の増、歳出における介護給付費準備基金積立金、国庫支出金等過年度分返還金、一般会計繰出金、予備費の増が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(議案第72号)

歳入における前年度繰越金の減に伴う、歳出における予備費の減が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町霊園事業特別会計補正予算(議案第73号)

歳入における霊園管理料、及び前年度繰越金の増に伴う、歳出における基金積立金、及び予備費の増が主な補正の内容です。

◎令和6年度矢祭町水道事業会計補正予算(議案第74号)

第3条予算の収益的収入における一般会計からの補助金の増、収益的支出における配水池等水道施設電気料や舟見加圧ポンプ場送水ポンプ修繕費、消費税中間申告に伴う消費税及び地方

消費税の増、予備費の減、第4条予算の資本的収入における一般会計からの補助金の増、資本的支出における山野井地内配水管布設替工事に伴う測量設計委託料及び工事請負費の増が主な補正の内容です。

令和6年度各会計別予算補正状況(議案第67号～74号)				
(単位:円)				
会 計 名		既 定 額	補 正 額	予算総額
一 般 会 計		4,606,174	220,660	4,826,834
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	609,404	6,367	615,771
	工 場 団 地 造 成 事 業	1,856	22	1,878
	宅 地 造 成 事 業	13,386	2,362	15,748
	介 護 保 険	578,790	85,987	664,777
	後期高齢者医療保険	150,940	△ 73	150,867
水 道 事 業	霊 園 事 業	493	120	613
	収益的収入	156,572	3,199	159,771
	収益的支出	156,548	3,223	159,771
	資本的収入	117,674	11,003	128,677
	資本的支出	149,723	22,006	171,729

人事案件

◎人権擁護委員候補者の推薦(諮問第2号)

福島地方法務局長より、人権擁護委員の推薦依頼があったため、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるも

のです。

人権擁護委員候補者に

宗田 真澄氏

推薦することが適任とされました。

請願・陳情

◎提出された請願は、所管の常任委員会に付託され、本会議において審査結果が報告されました。

○「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願
請願者
福島県教職員組合
中央執行委員長
瀬戸 慎子 様
紹介議員
鈴木 正美 様
審査結果
採 択

陳情

◎張一文様より次の陳情がありました。

○母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

議員提出議案

意見書

○「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(発議第5号)

一般質問(要旨)

9月定例会の一般質問は、10日と11日の2日間行われ、8議員が登壇し町政全般について執行部の考えを質しました。

文化教育・観光、産業・福祉、防災、交通行政



大森泰幸議員

◎文化継承ということ盛り上がっている中で、公民館建設の事業に向けて動き出している、どのように進めていける考えか、伺う。

◎教育課長

今年度6月より中央公民館建設検討委員会を、16名の委員で組織している。委員長には社会教育委員の議長、副委員長には公民館運営審議会の委員長が選出されている。委員の構成は、町議会を代表し、議長と総務常任委員長、行政区を代表し行政区長会長、利用関係者は、公民館運営審議会委員、社会教育委員、文化団体連絡協議会会長、高齢者クラブ連合会会長、子ども会育成会連絡協議会会長、商工会会長となっている。検討事項は、中央公民館建設に向けた基本的な計画、施設の規模、機能、内容等に関する事、その他必要な事項となっている。

7月30日に第1回、8月28日に視察を兼ねた第2回の委員会を実施している。今後の日程は、9月に2回を予定し、答申がまとまるまで月一、二回程度で開催していく予定。立地場所の見込みは、関岡小学校を含めた幾つかの候補地が上げられており、今、立地場所について調査している。答申を受理した後、議会にも説明し、意見を頂きたいと考えている。

◎教育長

昨年度、まちなか公共施設機能調査が行われ、中央公民館が優先度の高い施設ということで上げられており、中央公民館を核とした複合施設を考えていきたい。世代間交流施設、子どもの室内遊び場等を加えた複合施設ということである。現在、検討している。教育委員会事務局については、暫定的ではあるが、中央公民館内に設置をする予定で考えている。

◎住民との関係で決まった後に出すということだが、中間でその煮詰め方を伺いたい。

◎教育長

答申を受けましたら、更に具体的な建設計画を作っていくかなければならない。その段階で議員の皆様にはお示ししたい。

◎教育長

福島大学との包括連携協定は今年6月21日に締結した。内容は3点で、1つ目は地域課題の解決に関すること、2つ目は教育、文化、スポーツの振興に関すること、3つ目は地域産業の振興に関するものである。これまで様々な連携を続けており、昨年度、矢祭中学校の体育館の建設に当たっては、福島大学のほうから補助金申請に当たったの指導をいただいている。今後は、福島大学生による算数、数学の小中学校での講座、教員を目指す福島大学生に授業実習の場の提供、算数・数学学習官の人選を福島大学の教授と連携し、進めていきたい。また、公民館の利活用についても併せて一緒に進めていきたいと考えている。

◎公民館づくりというのはこういうものだという中間の話し合いの状況なども公表していただけないか。

◎教育長

福島大学とさらに連携を深めて、町民にとって利益のある、そして福島大学にとってもお互いに力になる、そういう活動に結びつけられるように、努力してまいりたい。

質問 「観光の矢祭」づくりについて

◎連携協定について、矢祭の資源、文化、こういうものを大子と一緒に、近接の場所での連携について伺う。

◎町長

協定まではいかないが、双方の観光協会と行政の中で連携して、それぞれのよさをPRしながら、交流人口の拡大という目的で7月には大子の施設等を見学してきた。大子の観光人口が、今80万人を超えている。我々のほうが今15万人ぐらいで、これから交流をしながら、大子の観光人口を矢祭のほうにというように思いで、観光の予算もしっか

り組みながら、この人口減の中の経済交流は大事なものだと思っている。キャンプ場や自転車サイクリングの活用、この久慈川流域の振興を図ること、防災も含めて、久慈川沿線の行政の連携が大事である。水郡線の活性化、国道118号と349号の整備等も含めて、観光交流人口に関わって考えていくことは大きなことだと強く思っている。

◎東館駅前において夏イベントのビアガーデンなどが行われているが、町だけに任せているわけにはいかないと、自分たちが民間として動くのが、町を生き生きさせるという動きが出てきていることについて、いかがか。

◎事業課長

ヒガンダテ待合室の地域おこし協力隊が、ビアガーデンを開催した。企画の段階からJR水戸支社の担当者とは相談しながら、駅舎を拠点としたにぎわいづくりということについて、快く賛同いただいたので、盛会のうちにイベントができたというふうに思っている。

◎駅前広場、駅舎の利用

をより一層快適にしていく課題が見えてきたと思うが、いかがか。

◎事業課長

ヒガンダテ待合室を開設している中で、トイレの課題があり、仮設トイレを駅舎の南側に設置した。JRさんで設置していた水道があり、その水道をいろいろ使わせていただきたいと相談し、お使いくださいと回答をいただいた。トイレの流す水のタンクの補充や、近くの花壇の水やり等に使わせていただいている。

◎JRとの協力関係は、来年度はどんなふうになるか、伺う。

◎自治総務課長

JRのスリム化事業に伴う工事が7年度に終了する。その間に設計を行って、その後8年度に仮駅舎の建設であったり、新しい駅舎の建設といった形で進めてまいりたいという考えを持っている。

◎民間の方がJRと直接、水戸支社と話をしている経過もある、そういうのはどんどんやっていただいているというふうに了解してよろしいか。

【答】 自立総務課長

J Rと協議をしていた
いて、使用することに問題
がないということであれ
ば、是非町のにぎわい創出
のためにも、町民の皆様
にご活用いただければと考
えている。

【問】 N H Kラジオで滝川溪
谷の溪流の風景がいいと紹
介されている。ディスカ
バー・ジャパンというところ
で、矢祭を光らせようと
いう取り組みも始まるよう
だ。

【答】 事業課長

テレビや、ラジオ、新聞
等、いろいろ取材申込みを
受けることがある。お金を
かけなくても広くP Rでき
る。事業課としても積極的
に応じているところがあ
り、これからも観光P Rに
努めていきたいと思う。

【問】 駅舎を使っている地域
おこし協力隊の方は、宣伝
が堪能で、全世界に波及す
るような能力を持った人も
いるので、ぜひ今後はそう
いう発展方向を考えていた
だきたい、町長いかがか。

【答】 町長

これからの観光というも
のは、しつかり、新聞やメ

ディアといったものを活用
しながら、関東圏、そして、
県内くまなく案内すること
が大事だと思う。

【質問】 町民みんなが安心して暮らせる「まちづくり」について

【問】 いきいきサロン、高齢
者クラブ含めて、これに対
する状況を伺う。

【答】 町民福祉課長

老人クラブは、現在、山
野井と高野谷地区の2団
体がある。それからいきい
きサロンについては、5地
区、中石井、戸塚、小田川、
ニュータウン、大井にある。

どちらも令和5年度と数に
ついては変更ないと伺って
いる。

【問】 居場所づくりというこ
とで、保健センターとそれ
ぞれの区施設がたまり場と
して、それぞれによって両
方使う人もいれば、声かけ
られて来る方もいらつしや
いますので、その辺の状況
を伺う。

【答】 町民福祉課長

保健福祉センターで行っ
ている介護保険事業では、
ライフアップ教室というの
があり、毎週金曜日開催し
ている。要支援、総合事業

対象者を対象に行っている
事業で、11名ほど参加して
いる。もう一つ、ワンアッ
プ事業がある、隔週金曜日
開催で、その都度参加者を
募って行っている。こちら
は概ね65歳以上の方を対象
として、毎回30名から40名
の方が参加している

【問】 区施設を利用したこと
については、把握している
か伺う。

【答】 町民福祉課長

各地区集会所では、高齢
者の保健事業と介護予防の
一体的実施事業ということ
もやっており、各地区の公
民館でフレイル予防を目的
としたサロンを開催してい
る。内容については、フレ
イルチェック、体力測定、
栄養講座などを実施してい
る。実績等につきまして
は、6月24日にニュータウ
ンで14名、7月10日に小田
川で7名、7月23日に大井
で10名、7月25日に中石井
で7名が参加し、9月以降
は戸塚と山野井を予定して
いる。

【問】 資格確認書、マイナン
バーカード、紙の保険証、
その辺の状況について伺
う。

【答】 町民福祉課長

今年12月2日から現行の
被保険者証は発行されなく
なる。マイナ保険証を保有
していない方は、本年12月
2日以降お持ちの保険証の
有効期限までに申請してい
ただくことなく、町から資
格確認書を交付し、引き続
き医療機関、薬局等を受診
することができるようにな
る。

【問】 保健機関の町役場のい
ろんなスタッフ、職員、保
健師などについて大変な状
況だと思うが、保健師の配
置状況はどうなっている
か、伺う。

【答】 町民福祉課長

現在、保健師は3名であ
る。内訳は、正職員が1名、
再任用職員が1名、会計年
度任用職員のパートタイム
が1名である。

【問】 今の段階で保健師が常
時いないというような状況
があるという話が出回って
いるが。

【答】 町民福祉課長

正職員が1名おり、常時
ということになる。再任用
の職員は週4日間、会計年
度任用職員のパートタイム
は週3日間である。

【問】 難聴検査の実施と支援
について伺う。

【答】 町民福祉課長

聴力に関する単独の相談
窓口は設置していないが、
健康相談については受付し
ているので、その中で聴力
に関するご相談をいただい
ればと考えている。

【質問】 町民の生命と財産・暮らしを守る事業について

【問】 矢祭町の山下福住の自
然災害、今後どのように考
えているのか伺う。

【答】 事業課長

現在、森林法に基づく復
旧命令が発出されており、
9月上旬までに着工に応じ
た場合は、来年1月までの
工事完了を求めていること
で、命令に応じない場合
の対応については現在、法
務担当と相談中と聞してい
る。

【問】 町長に一言、今後どう
するか、伺う。

【答】 町長

町民の安全・安心を確保
することが一番大事なこと
だと思っている。今後も、
情報を捉えながら県や国に
伝えていく。

【問】 県に関わるような事業
の調整会議や重点要望など
はどうなっているか。町と
しては、重点点はどういう
要望をしているのか、伺う。

【答】 事業課長

土木関連事業について
は、県南建設事務所や棚倉
土木事務所においていた
き、連絡調整会議を年2回
ほど開催している。今年度
は、国道118号の並木工
区の早期着工について要望
しており、用地買収を進め
ながら、山野井カーブ付近
での道路改良工事に着手す
ると回答を得た。また、一

級河川久慈川の堤防築堤に
ついて、早期の用地補償の
着手に努めるとの回答が
あった。一級河川小田川の
上関河内地内の堆砂除去、
田川、大内沢、天神沢でも
除石工事を実施する予定。

それから、埤・矢祭間バイ
パス整備、県道石井・大子
線の道路改良工事など、町
からの要望を伝えている。
【問】 矢祭山の火災につい
て、概要が分かりましたら
対処法も含めて伺う。

【答】 町民福祉課長

本年度の火災は1件で、
建物火災が内川字矢祭地内

で発生している。令和6年
7月11日午前零時51分覚知、
3時29分鎮圧、6時38分鎮
火となっている。被害状況
は、住宅3棟が全焼し、け
が人も発生しているが、死
亡者は幸いなことにいなか
った。対応については、消防
防行政の観点から申し上
げますと、自然災害が主な
原因で発生した火災でなけ
れば、支援制度や支援金の
適用にならない。火災に遭
った方、各自の火災保険等
で対応していただくというこ
とになるかと考えている。

【問】 当事者の住宅支援等、
住宅に関わる条文など書き
直しながら支援できない
か伺う。

【答】 事業課長

令和元年度の台風の際に
高地原、内川地内の方が町
営住宅を利用したという実
績があり、そういうものを
参考にし、災害時の町営住
宅の一時使用に関する要綱
を改めて作成して、町営住
宅を現在利用していただい
ている。

【問】 どこまでそれが知れ渡
るようになっていくか伺う。
【答】 事業課長

その被災された方に案内

している。ホームページ等
でのお知らせはしていない。

【問】 消防施設の管理、点検、
町に知らせれば、直せるよ
うになっているのか伺う。

【答】 町民福祉課長

点検、管理は地元の消防
団で消火栓格納倉庫周辺の
草刈りや現況把握など管理
を行っている。老朽化した
ものは地元の消防団に支給
し、設置、管理をしてもら
っている。

【問】 山野井のカーブを直す
工事に際し、街路灯が必要
ではないか。防犯灯の要望
もある。山野井を含めて、
どのように今後考えている
か伺う。

【答】 事業課長

地元からの要望というこ
とであれば、今後の連絡調
整会議等で要望していき
たいと思うが、国道沿線に
ついては、これまでは防犯灯
での設置が多いのかなと
思っている。

【問】 令和6年度の死亡事故
は何件あったのか、伺う。

【答】 町民福祉課長

令和6年度の矢祭町内の
道路における交通事故によ
る死亡事故が1件、車の運
転中に病死し交通事故に

なった事案が1件の2件に
なる。

【問】 死亡事故になっている
のは小田川と中石井の2件
だと思いが、いかがか。

【答】 町民福祉課長

1件目は、今年7月20日
午後4時半過ぎに下石井字
城主内地内の国道118号
で軽乗用車と軽トラックが
正面衝突をして、運転手の
男性が死亡、死因は病死で
死亡事故ではない。2件目
が、今年8月24日午前8時
40分頃、内川字峠遠目地内
において、軽乗用車と普通
乗用車が正面衝突して、助
手席に乗っていた80代の女
性が死亡。こちらは交通事
故の死亡事故ということに
なる。

【問】 小田川の事故は、今年
度か昨年度か伺う。

【答】 町民福祉課長

令和5年度になるかと思
う。

【問】 S M C第2工場進入路
と国道349号との交差点
の信号設置について、早急
に設置してもらいたいとい
うことと、綿密な計画につ
いて、町の考えを伺う。

【答】 町長

6年度中に設置予定であ

ることは聞いている。詳し
い中身は存じ上げないが、
機会を得た際には、状況を
確認していきたい。

【問】 国道349号の安全と
渋滞について、町の担当課
では話し合いを進めている
か、伺う。

【答】 町民福祉課長

国道349号の渋滞緩和
について、警察署と協議と
いうところまでは至ってい
ない。信号機が設置され
れば、ある程度緩和にもつ
なると考えている。

【問】 朝夕は物凄く混む。信
号の設置は、その辺を調べ
た上で考えているのか、お
任せなのか伺う。

【答】 町民福祉課長

信号機の設置に際し、時
間の設定等については、あ
くまでも警察が行うもの
で、町が関与することはで
きない。

【問】 状況を考慮し意見交換
して、適切な判断ができる
ようにするような考えはあ
るのか伺う。

【答】 町民福祉課長

信号機の設置後に問題や
要望等が出てくるのであれ
ば、その時点で、警察署に
伝えたい。



藤井隆治議員

質問 矢祭町鳥獣被害対策実施隊について

問 現在の実施隊の人数と年齢層を伺う。

答 事業課長

40代が3名、50代が2名、60代が2名、70代が6名、合計で13名、平均年齢が58歳となっている。

問 隊員のなりて不足により、実施隊員が減少すると、対象鳥獣がますます増えて、被害がさらに多くなることが予想される。今後、町はどのように対応していくのか伺う。

答 事業課長

隊員の高齢化、隊員数の減少は、町としても危惧している。猟友会矢祭支部の方に、人員の確保や育成について要請をしている。農作物被害については、電気柵や被害防止対策設備の導



片野一也議員

質問 ホームページ等情報発信の充実について

問 町からの情報発信の在り方が大切であると感じる。ホームページの充実、メリハリの利いた本町PRの在り方について考えを伺う。

答 町長

ホームページの発信力というの、各企業、行政でも不可欠なものである。行政でもホームページから全世界に発信することもある。観光でも移住・定住でも非常に大事な位置づけである。

問 町長が思っているPR戦略、関係人口、交流人口の中での思いをお聞きたい。

答 町長

関係・交流人口に関しては、まず矢祭町を知っても

入が被害の予防や減少に有効であるため、注意の喚起や補助金の活用について周知を図っている。

問 金銭的な面や免許取得においては、警察との対応、家族、近所の理解などハードルが高い。後者については自身で努力すべきものであると思うが、免許取得に対する金銭的な補助は、町としてはできないか、どのような考えか伺う。

答 事業課長

現在、矢祭町独自の免許取得への補助はない。いろいろな情報収集をしていきたい。

質問 野良猫について

問 野良猫が捨てられて対応に苦慮している。そういった猫がその後どうなっただか把握しているのか伺う。

答 町民福祉課長

藤井議員のおっしゃった猫が、その後どうなったかについて、町のほうには情報が入っていないのでわからない。

問 ペットで飼われている犬、猫等の去勢手術の状態はとこまで把握しているのか伺う。

答 町民福祉課長

去勢手術の数については、把握していない。

問 犬は登録されているであろうが、猫は登録する必要があるのか伺う。

答 町民福祉課長

猫に登録制はない。令和4年6月1日に改正動物愛護管理法が施行され、ペットショップやブリーダー等には、マイクロチップの装着が義務化されているが、一般の飼い主については努力義務となっている。

質問 使われない小学校について

問 近年ペットと一緒に旅行する例を見かけるが、そういった旅行者をターゲットとして、使用していない小学校のグラウンドをドッグランとして開放してはという要望がある。小学校の跡地とかのグラウンドは、自由に出入りしていいものか伺う。

答 自立総務課長

現在、校舎内には立ち入ることができないが、グラウンドについては使っていただいても問題ない。使いたいという状況もあると

思うが、キャッチボール、サッカーなどで、ご利用いただくことは可能である。

問 町民でなくても大丈夫か伺う。

答 自立総務課長

今現在、町民以外の方の利用を想定してはいないが、適正な使用で、お問い合わせいただければ、適宜対応していきたい。

問 先に使用している人がいなければ、使ってもいいという判断でよろしいのか伺う。

答 自立総務課長

周りに迷惑をかけない、モラルを守っていただいて、一般的な使用であれば、それに対してどうこうというようなことではないかと考えている。

問 今使われていない小学校も、ただ放置しておくより、有効活用はできないのか。何年もただ空けておくのではなく、何か大きい事業が始まるまでの間の暫定的な利用のアイデアはどうか伺う。

答 自立総務課長

まず、旧関岡小学校は現在、中央公民館の候補地の一つとしてご検討いただ

質問 公共施設の整備計画について

問 まちなか公共施設機能調査の結果により、中央公民館建設委員会が発足したときいている。これは町長が頭になり、その主管課である教育委員会が事務局となり、他の公共施設整備との関連性に配慮しながら、なおかつ教育委員会の意見、意向をも反映させながら進めていくことが必要なのではないか、見解を町長に伺う。

答 町長

いきさつは、教育長からの答弁のほうが明確にできると思う。

問 公民館も町の公共施設整備の一つ。公民館が先んじていくと、他の施設との関連性が損なわれるんじゃないかと危惧している。公民館優先ということで物事が進んでいるのか伺う。

答 町長

公民館を先に優先したというの、駅前周辺整備の中の一環だと捉えている。

ている。旧内川小学校は、町の方針としては、個人や民間企業への貸出しや売却等を考えているので、旧内川小学校に限っては、ご利用したいという方がおいでになれば、是非お貸ししたいと考えている。

問 内川小は貸し出してよいということだが、グラウンドだけとかというのも可能なのか伺う。

答 自立総務課長

内川小の校舎は耐震基準を満たしていないので、利用等について制限があるかとは思うが、グラウンドについては特に制限がないので、グラウンドの活用も含めて、お貸ししたり売却をしたいと考えている。



ないのか。また、現存する様々な公共施設では、駄目なのか伺う。

答 教育課長

各年齢層が交流できるコミュニティホールのような、公民館という名称にこだわらない施設が、各市町村でも最近整備されている状況なので、そういったことも考慮しながら検討している。

答 教育長

文化団体の数は、今年度になって2団体増えている。3年前に公共施設整備検討委員会というものを立ち上げており、その中で各施設を各課に振り分けては、バラバラになって、町民にとって利便性の高いものにならないであろうとのこと、まちなか公共施設機能調査において、全体的なイメージを持って検討を進めてきた。その中で、ロードマップや優先順位が示されており、全体的なイメージをみながら共有しながら進めている。

質問 義務教育学校や小中一貫校の構想について

問 1学年1クラスの時代に突入し、今後さらに少子

化に拍車がかかる状況の中で、学校の運営自体も変えざるを得ない。義務教育学校、又は小中一貫校という在り方が視野に入ってくるのか。コミュニティ・スクールでの議論や教育長がどのような考えなのか伺う。

答 教育長

義務教育学校、小中一貫校については、必要性があるだろうと考えており、構想も立てていかなければならない段階と思っている。ただ、子どもたちが少なくなるから一貫校にするわけではなく、その辺のビジョンを持ち、しっかりとしたコミュニケーションを行い、適正な教員の配置や、環境、施設、設備の整備についても計画的に進めていかなければならない問題である。そうしたことを精査した上で、進めていくことが重要であると考えている。

質問 観光振興の在り方について

問 ハイキングコースとしての滝川溪谷の新たな魅力の付加、距離を短縮してでも、新しいルートを検討する余地はないのか。また、

その整備や維持管理に費用が発生しないような工夫をしていただいて、歩ける環境だけを整え、ガイドマップに表示するなりして、知らしめていただければ、新しい魅力発信になるかと思うが、いかがか。

答 町長

滝川溪谷や矢祭山公園、戸津辺の桜、久慈川沿線も含めた観光の振興は、大事なものであるので、滝川の新ルート計画に当たっては、いろいろなものを考えながら進めていけばよい。追分地区を一つの観光の名勝にするというようなことも考えられる。キャンプ場とか、埴町の自然塾も視野に入れていけば、阿武隈の観光資源を活用できるという思いを持っている。

問 矢祭山公園は、町を代表する観光地、町の名を冠する場所であり、まだまだ伸びしろがあり、発展途上であると思う。その観光の拠点となる場所がない。そういう場所があれば実に観光地として脚光を浴びる。今もって魅力に欠ける点がここのかと思っている、いかがか。

答 町長

今後の公園整備において、観光施設の整備と観光のPR、ホームページを立ち上げながら観光の宣伝が大事。秋の紅葉の時期がやっばり滝川にしても、矢祭山公園にしても、秋が一番すばらしい。陸橋を水郡線が走る。そういったものを動画等でPRしていけば、かなり観光される方のレクリエーションの一環になる。公園の整備は大事な位置づけだと思っている。

質問 災害時の緊急避難所の備えについて

問 自然災害が全国どこでも発生する状況で、指定避難所における備蓄物資の品目について確認しておきたい。併せて、個々のプライバシーに配慮したパーティションや簡易ベッド、空調の備えなどはどのようなになっているのか伺う。

答 町民福祉課長

食料品は、飲料水、食料これは長期保存型のご飯等、保存パン、栄養ゼリーなどを備蓄している。防災の用品は真空の毛布、災害備蓄マット、段ボールベッ

ド、段ボールパーティション、折り畳み式の間仕切り、簡易トイレ用収納袋、トイレ等多用途マルチルーム、発電機等を備蓄している。感染対策用品として、無人検温サーモグラフィカメラを整備している。今年度の事業で、乳幼児用の粉ミルクや使い捨ての哺乳瓶、おむつ、女性用のサニタリー用品の拡充を予定している。空調については、避難所の部屋ごとの備付けの空調で対応すると考えており、特に用意をしていないが、大型の扇風機につきましては、4台ほど保健福祉センターに用意している。

問 空調については、大型扇風機云々ではなくエアコンで考えていないのか伺う。

答 町民福祉課長

空調、冷房について、移動式のものは難しい。冷風機的なものが用意できるかどうか、今後、検討を進めてさせていただきたい。

問 住む場所が失われてしまった場合の救済措置として、町営住宅について、所得制限に関係なく入居することは可能なのか伺う。

答 事業課長
被災者を対象とした、町営住宅の一時使用については、所得に関係なく、通算して2年間まで使用期間を延長できるとしている。



藤田玄夫議員

質問 不法投棄、ゴミのポイ捨てについて

問 福住地内の不法盛土の進捗について、西郷村では先日、県の代執行により土砂の搬出、整地を行うと民報新聞に出ていた。当町は、現在どのようなになっているか伺う。

答 事業課長

本町の盛土現場について、保安林については、令和7年1月末を期限とする土砂撤去命令を6月に県が出しており、従わなかった場合、対応は法務担当と相談中とのこと。保安林以外の山林については、盛土規制法による対応を検討し、

伝えているが、まずは西郷村が優先されているようだ。町としては、小規模林地開発計画書の内容に沿っていないことから、改善指導書をこれまで3回送付しているが、その後の進展はない。

問 現在3回、先方に通知を出しているが、返答がないということか。

答 事業課長

土地所有者と計画書を提出した個人の方に簡易書留で送っており、土地所有者、会社には届いている。個人の方は受け取りを拒否されていて、返ってきている。会社のほうには届いていて、内容も把握していただいていと思うが、会社から、こちらが指導した内容について、現場を是正したとか、指導書の内容について確認の連絡が来たということもない。

問 返答がない場合に、どのような対策が取られるのか、町長に伺う。

答 町長

森林法違反ということ、刑事告訴というような法的手段、また、地域住民の安全・安心と今後の対策

について、県や国に対し、陳情とかお願はしつかりやっつけていきたいと思う。

問 現状として、既に不法盛土がある。いつ何時、災害が起こるかわからない状況で、最悪の場合、県の代執行をしてくれと、整地してくれと。それができないのであれば、町が責任を持つて、それに対して講じる。安全策を対応する。そういうような考えを持つのも必要ではないかと思うが、いかがか。

答 町長

検討していきたいと思う。どのような検討を考えているか伺う。

問 条例や法令を加味しながら検討をしなければならい。

答 町長

現在、福住地内に積み上げられた盛土、これを安全が確保できるような形に整地をする必要がある。いくら通知しても、返答がない。やっつけてくれると思っている前に、やらないという想定の中で対処していく必要があるのではないか。

答 町長

町単独では、非常に大変

なことになる。県・国との連携が重要だと思っている。

問 国県道や町道、農道、林道への不法投棄、ごみのポイ捨て、特に国道349号のバイパスが通ってから凄いと、休憩しながらまたは走りながら捨てて行ったりする。このようなごみは誰が集めるのか、伺う。

答 町民福祉課長

町においては、不法投棄の巡回業務として、シルバー人材センターに委託して、月2回ほどパトロールを実施し、ごみを拾っていただいている。また、町の不法投棄監視委員、2名を委嘱しており、監視及び不法投棄の防止を図っている。毎年、各区長さんをごみ不法投棄監視員に委嘱し、町への通報、または未然防止の啓発をお願いしている。

問 月に2回程度歩いているとは聞きますが、ほとんど変わっていない状態だと思うが、いかがか。

答 町民福祉課長

何とか回収できるような形に持っていければと考えている。

問 ある部分仕事として、町が推進していく。そういう中で、町の観光、環境をよくしていくという点では、大事な部分だと思ふ。そういうような体制をつくるのも一つかと思うが、いかがか。

答 町長

町ではシルバー人材センターに月2回、そして、町の不法投棄監視員を2名委嘱しているというようなことで、その時点での回収等には行っている。これ以上、更に、ごみ等が目立つようになれば、また、その時々に対策は考えなければならいと思っている。

問 そういう部分は委託するのではなくて、専門的な部署を設置してもいいのではないかと私は思うが、いかがか。

答 町民福祉課長

埴町に聞いたところに、パートタイムの会計年度任用職員、環境美化推進員ということで、2名の方が毎週木曜日、ごみの回収等を行っている。準じたような人に頼んでやるかどうかとか、そこら辺の検討については、今後、検討、課題と

いうようなことにさせていただきたい。

問 こういうのは、即決でできるものだと思うが、いかがか。

答 町長

現状等に見合ったもので、今後の検討課題である。

質問 地域環境の保全について

問 地域環境の保全について、いろいろな形で取り組んでいる。年々、高齢化によりなかなか組織の維持が難しくなってきたっており、今まで整備をしていた部分、これから作業がされなくなる。そういうときに、誰がそこを管理というか、整備というか、道路として維持できるようにしていくのか伺う。

答 事業課長

住宅周辺や農地周辺の道路については、地域住民や耕作者において路肩や法面の除草作業を実施しており、町ではそれ以外の区間、幹線道路や生活道路、観光路線等を優先して、シルバー人材センターに依頼をし、除草等を行っている。多面的機能支払交付金事業や中

山間直接支払事業に取り組んでいる地域においても、高齢化によりその活動が年々難しくなってきたことは聞いている。そのような中、守るべき農地はどこなのか、守り切れない農地はどうするかを地域内で話し合っている。林道についても、今年度は29路線で維持管理を実施してもらっており、森林施業や林道の利用状況などを考慮して、維持管理を実施していきたいと考えている。

題等の解決はしていかなければならないと思っ
質問 まちなか公共機能調査終了後の進捗状況について

問 まちなか公共機能調査が終了し、第6次総合計画が進行中の今、町はどのように、今回の調査を含めて、今後の計画、いろんな部分計画があると思う。これを参考にして、どこまで計画をしているのか伺う。

答 自立総務課長

来年度策定を予定している第7次矢祭町総合計画にも、このまちなか公共機能調査業務の結果を反映させていたでいて、まちなか公共機能調査の中でも大まかなタイムスケジュールは示しているが、明確に事業計画とタイムスケジュール等も示しながら、事業を進めてまいりたいと考えている。

問 町長には、思う存分自分が思う町づくりをしていただきたいが、進みが見えない。イメージロードマップがあつて、その中にいろいろな事業があるが、短期間の中に建て替えが集中す

る。短期にこれだけのハードを造り大丈夫なのか、いかがか。

答 町長

長期的なビジョンと短期的なビジョンをはっきり明確化するには、この計画をしっかりと推進しながら、一つ一つ精査していくことが大事である。現時点では、必ず課題があり、時代が変わりますから。そういった思いを、しっかりと捉えながら、今後の町づくりの中に施策を入れるというのが、今後の私の課題だと思っ

問 こういう施設、役場も含めて、東館に置く必要があるのか。

答 町長

場所等は、これからの検討課題と私は思っている。

問 基本的な部分は首長が示していかなければ、結局時間の無駄遣い。町長が今考えている矢祭町をこういうふうに変えたい、こういうふうにしたい、形として見える構想を伺う。

答 町長

次の構想は、しっかりと立てており、まちなか公共の施設においては、時間をか

けるのも一つのビジョンの中に、私は入れたと思うている。

一般・土木・教育行政



鈴木敏男議員

質問 副町長人事について

問 検討しますということ、どのように今まで検討してきたのか伺う。

答 町長

今後また検討するとかではなく、今、人選等をして

問 どのような人事を考えているのか。町の人を採用するのか、県のほうから呼んできて、県職員の方をやっていたかどうか伺う。

答 町長

しっかりと精査しながら考えてやっている。

問 ぜひ議員の報酬も前に戻りましたので、町長の報酬も前に戻して、一生懸命やっていたきたいが、町長の考えを伺う。

答 町長

報酬はこれからの課題、今我々、教育長も副町長も一緒ということがあり、その点も踏まえながら検討していく。

問 県の職員を呼ぶとなると、それ以上にお金がかかるというような話も聞いているが、どのような状況なのか伺う。

答 自立総務課長

県職員を町に招聘する場合の金額、人件費がどれくらいかかるのかについては、確認したことがない。お答えすることができない。

問 町長は月にどのくらい町にいられるのか。

答 町長

数えたことはないが、月の3分の2は在庁している。
問 3分の2では、一人で抱え込むのは本当に大変だと思う。一日も早く副町長を選んでいただいで、自分の思いをしっかりと前向きにやっていただきたいと思う。いつ頃までにお決めになるのか伺う。

答 町長

日にちを決めることは難しいが、貴重なご意見として参考にしていきたい。

問 12月頃までには何とか決断していただきたいと思うが、いかがか。

答 町長

参考になさせていただきましたと思う。

質問 町政懇談会について

問 野出ノ内で、4、5年前に懇談会に要望したにもかかわらず、全然手付かずで、役場職員の方にも見に行っていたのだが、改良がしていただけない、住民に寄り添って是非やっていただきたいと思うが、いかがか。

答 事業課長

この要望につきましては、道路の一番低い所にお宅があつて、路面排水がうまく集水桝に入っていない状況でしたので、改善できるように施工したいと考えている。

問 前回の懇談会にも言われて、5、6年経つて何もできない。町民サービスが全然なっていないので、一日も早く、困りごとがあつたときは対応していただきたいと思うが、町長いかがか。

答 町長

生活する上での支障というのはしっかりと対応しな

ければならないと思う。担当も、現場を見てきたと思うが、私も再度確認をしている。

質問 各林道の維持管理について

問 高齢化であるから、町が動いてくれないと通れなくなってしまう。どのような状況になっているか、見てみたいと思うが、事業課長、どのような考えがあるのか伺う。

答 事業課長

林道については、町内に44路線あり、29路線で31の林道愛護組合が組織され、維持管理を行っていたい

ている。愛林組合が無い路線では、生活道路とか利用頻度が高いところが優先的になるが、町職員がパトロールをしたり、シルバー人材センターに委託をしてパトロールを行ったり、また、郵便局との包括連携協定の中で配達をしながら、気づいた箇所があれば報告を受け、予算を確保しながら対

応している。

問 パトロールの結果が「良」となっている。私も鳥獣保護員で毎月全路線回って歩くが、軽トラックでも頭に触るような状況になっているのに、なぜこの状況が「良」になっているのか。本当にどこを見てきたのか、理解できない。どこを見てこの「良」という状況になっているのか伺う。

答 事業課長

毎回パトロールに行くのと、40、50キロとか半日かかり、その中で車に乗りながら、路面の状況等を確認している。

問 路面の状況だけか。

答 事業課長

主に路面の状況で、立木の枝が張り出している状況や、側溝や法面からの崩落がないか等の確認もしている。

問 町としてしっかりと対応してもらいたい。一朝有事の際に緊急車両が入れないようでは、林道の価値がない。道路パトロール巡回もシルバーでやっているという話だが、どういう状況か伺う。

答 事業課長

シルバー人材センターの

ほうには月2回のパトロールをお願いしており、日にちについてはお任せしている。

問 通行不能になっているような法面があると思うが、立木が被さっている。そういう状況なんかを写真撮って、町に報告するような巡回をして、パトロールをしていただきたいが、いかがか。

答 事業課長

林道も各路線がある中で、生活道路や観光で利用される路線、利用頻度の高い路線を優先的にパトロールをしているが、それ以外の路線についても逐次パトロールをして把握をしていきたい。

質問 先生の師匠募集について

問 新聞に9月から全国に公募し、と書いてあるが、どのような状況で、今進んでいるのか伺う。

答 教育長

算数、数学学習官について、9月に全国公募をしていきたいと考えている。大学教授や教育行政の指導等を経験した方を招聘し、常

問 会計年度任用職員の指導主事は、普通の会計年度職員とはどのぐらい差があるのか。

答 教育長

年齢にもよるが、中学校で町の講師を会計年度任用職員として任用しようとした場合の2人分くらいになる。
問 昔みたいに土曜日の午前中などを当ててやるような考えはないか伺う。

答 教育長

今後その学習官を任命しましたら、子どもたちの学力向上につながるいろいろなアイデアを出していただいで、進めていきたいと思っ

道路・教育・防災行政



郡司浩子議員

質問 道路全般において

問 国道、県道の劣化、摩耗、ゆがみ等どのように把握しているのか。横断歩道とかセンターラインが国道では消えてしまっているとか、歩行者や車で走行する方々には、大変安全の面で問題があるので、考えを伺う。

答 事業課長

国県道については、棚倉土木事務所の方で毎週1回程度、道路パトロールで矢祭まで来ており、路面の状況等、把握している。町は、町民からの声を伝えたり、年2回ある連絡調整会の中で要望をしている。町が管理している町道については、平成25年度に路面性状調査を51路線、56・9キロメートルにおいて実施をした。調査で路面のひび割れやわだち、縦断の凹凸を調

査し、路面の劣化や損傷具合の結果を基に路面舗装補修工事を順次実施している。

問

2、3年前に小田川で歩道の白線を引いていたところだが、工場団地に行く車があり、やはり消えかかっている。町からきちんと挙げていかないといけないのかなと思うが、伺う。

答 事業課長

計画的に舗装補修の実施に向けて予算の確保に努めていくという回答をいただいている。個別箇所についてもいろいろ、対応はその都度していただいている。横断歩道については、警察署の対応となると思う。

問

横断歩道の白線やセンターラインはどちらが管轄になっているのか伺う。

答 事業課長

センターラインや道路脇の外側線については、道路管理者が引き直しをしている。

問 警察署の管轄である横断歩道、一時期、横断歩道をなくす動きが、なるべく少なくするということがあったと聞いている。事故があったり、子どもたちが通る場所であるので、一番

条例の制定が必要と考えるが、町の考えを伺う。

答 町長

現在、県内の59市町村の中で、33市町村が条例化をしている。東白川郡は矢祭だけが条例化していない。今後、支援等の条例を町の条例として制定し、施行するということも大変重要だと思う。検討しながら前向きに考えていきたいと思う。

問

今後条例を早急につくる考えはあるか伺う。

答 町民福祉課長

県では、犯罪被害者等支援条例と犯罪被害者等見舞金等事業補助金、この2つについては抱き合わせで行っており、条例と見舞金等制度については、23市町村で、見舞金等のみは10市町村で制定しているということなので、矢祭町においても、できるだけ早い段階でこの条例、制度について作る方向で検討していきたいと思っている。

質問 矢祭小学校管理について

問 校舎北側に樹齢70年以上の樺と古木の桜がある。

も視野に入れながら検討していきたい。

問 こういう計画は、ほかの町村にはないを書いてあるが、今後広がる可能性があるか伺う。

答 教育長

福島県教育委員会では、アドバイザーを数名確保し、各町村を回っている。独自に持つということで効果があれば、是非、やっていきたいという教育委員会もある。

一般・教育行政



鈴木一議員

質問 犯罪被害者等の支援条例制定について

問 県では犯罪被害者等の支援条例を令和4年4月1日に施行している。現代社会では、いつ何とき犯罪被害者等になるかもしれないし、犯罪被害者等になってしまったとき、必要な支援を途切れなく提供できるよう、町の犯罪被害者等支援

に優先で考えていただけるように、町民福祉課の方に伺う。

答 町民福祉課長

横断歩道については、警察署管轄になると思う。要望が町懇談会等であった場合には、その都度警察署のほうに話をしている。

問

DXというのもあり、住民からの通報、写真を撮って送りたいとか、町民から受け付ける術はないのかと思うが、その件に関して伺う。

答 事業課長

スマホにアプリを入れることによって、そういうことができるシステムがあることは、聞いたことがある。

問 今後、道路全般において問題が生じる前に対策を進めていただきたいが、町長いかがか。

答 町長

交通安全も防災も、全て道路行政から入ってきているので、有事の際の道路確保というのは大変重要なものになってくると思う。

質問 東館駅前町道について

問 東館郵便局前通りから駅前に向かうところが狭い。

学校周辺の安全管理としてはどのような対策を考えているのか伺う。

答 教育課長

安全対策として、木の周辺をフェンスで囲い、立入禁止にしてはありますが、令和4年8月に九州の小学校において、学校敷地内にあった木の枝が落ち、下に居合わせた校長に当たり死亡する事例もあった。事故があつてからでは、取り返しがつかないので、多くの皆様にご理解をいただきながら、今後の対策を進めてまいりたい。

問

もし可能であれば、違うものを記念樹として植えた方がいいのかなと思うが、教育委員会の考えを伺う。

答 教育課長

古木に関しては様々な意見をお持ちの方がいますので、そういった方のご理解を頂きながら、安全第一に進めていくことが、大事なことだと思っており、皆様にご理解いただきながら、今後の対策を進めてまいりたいと考えており、今後新たに、記念樹を植える際には、慎重に樹種を選定したい。

エアコンが設置されているが、小中学校の体育館には、エアコンの設置はない。

問

今後、この暑さを考えて、移動式のエアコンというのもあるので、手立ても考えて、導入をお願いしたい。子どもたちの安全のためは、教育活動がしっかりとできるためをお願いしたいと思っているが、いかがか。

答 教育課長

気温上昇による熱中症対策として、学校体育館へのエアコンの設置は、今後検討すべき課題であると認識している。災害時の避難場所になる可能性もあるので何らかの対策を講じる必要があると考えている。来年度は小学校体育館において、矢祭小学校の10周年記念事業も計画しており、可動式の冷風機等の設置を含めた検討をしてまいりたいと考えている。

問

子どもたちの教育活動がしっかりできる。先生方も安心して指導ができる状況をつくっていただきたいと思うが、再度伺う。

答 教育課長

可動式の冷風機等については、検証しながら、今後

進めていきたいと考えている。

質問 防災も考えた住民への情報発信行政サービスについて

問 IPフォンを今、町は活用して情報発信していると思うが、どうやって住民に周知していくかということが課題である。すぐメールだけではなく、LINE、電話、ファクス、それから既存のものと連携をして配信ができる。ほかのシステムとの連携機能がある。Jアラートや気象情報、防災行政無線などもキャッチして自動配信もできる。こちらでは登録は無料ということなので、考えてみてはどうか提案をしたい。

答 町民福祉課長

郡司議員から説明のあった配信システム、すぐメールプラスの件ですが、このシステムは、配信先の登録、いわゆる町民の方が登録する場合、電話番号、メールアドレスの登録が必要であるというのがまず大前提で、また、ほかのシステムとの連携がまだ不確定など

こである。全町民に一斉配信ではなくて、配信先登録のある、例えば要支援者、それから介護施設、外国人等、特定の住民に配信することがメインで、ほかの市町村も行っているということでございますので、今後、防災情報配信システム連携の際に参考にしたい。

福祉・一般行政



鈴木正美議員

質問 ドクターヘリの基地について

問 ドクターヘリの基地をこの矢祭、大子、馬頭この辺りを中心としたFIT圏内に置くことができないのか。この僻地における重要性、是非町長にもご理解をいただいて、こういったことについての推進ができないか伺う。

答 町長

今、八溝山周辺地域定住自立圏というものがあ

ている。今、この八溝山周辺の自治体が、緊急性の高い医療の一番の空白地となっている。しかし、国からの補助はあるにしても、管理費がなかなか厳しい。時間をかけながら、課題としては提案をしていく必要性は感じている。

問 地域の町村がもっと連携を強めて、ドクターヘリのみならず、広域連携これをさらに広げていく。そういう場面を町としても、県との話合いの中で、あるいは各他県との話合いの中でもそういうことを出しつつ、推進をお願いしたいと思います。町長の考えを伺う。

答 町長 広域圏の連携、久慈川流域の相互連携、観光の連携、防災の連携、そういう人の交流や連携もあり、この少子化、人口減の中では大事な施策になってくると思う。

問 担当部局の今後の考えを伺う。

答 町民福祉課長 ドクターヘリは、ドクターヘリ特別措置法に基づき運営されており、都道府県が導入し、都道府県の要

請を受けてヘリ基地病院の救命救急センターが行っており、運営経費は都道府県が負担している。国から一部補助はあるが、運営はなかなか厳しい。町としましては、F I T圏内のそれぞれの県に要望活動をしていくということになるのかと考えている。

質問 小学校の跡地利用について

問 今の小学校の現状について、各学校一校一校について、どうお考えをお持ちなのか伺う。

答 町長 関岡小学校の跡地は公用地として使いたい思いがある。内川小学校の今後の考え方というのは、企業を誘致する環境を整える、そういう努力をしていきたいと思っている。下関小の跡地は今、バイオマス発電というようなことで、現時点で校舎と校庭も、借りているという現状がある。当時の雇用関係とか、こういったものが未だになされていないのではないかと発言であるが、現在は、企業が借りて稼働している。

町に対しての利益効果は出ていない。内川小学校、これは壊すか、新たな使い道を探すのであれば、既に何か行動を起こしていないと、建物だけが古くなり、痛みが激しくなり、それこそ使えないものになっていく。せめて内川小学校を壊すか、攻めるのか、それだけでもお答えいただきたい。

質問 人口対策について

問 企業誘致、交流人口について、具体策はあるのか。

答 町長 現在は、全く白紙の状態である。新たな施策というものは、議員の皆様とともに、情報を得ながら進める。これからの施策は、これまですとは少し違う形で行かないと、なかなか前には進めないと感じている。

福島県町村議会議員研修会

10月25日(金)、郡山市「ビッグパレットふくしま」において、県内の町村議会議員の研修会が開催されました。

本町からは議員全員が参加し、明治大学政治経済学部教授 牛山久仁彦氏とジャーナリスト・ニユースキャスター 星浩氏による講演を拝聴しました。



議会議員研修会

監査・議会の動き

★8月

6～9日 決算審査(第1会議室他)

7日 令和6年度東白川地方町村監査委員協議会総会(棚倉町)

8日 白河地方広域市町村圏整備組合議会第3回定例会(白河市表郷庁舎)

19日 山村開発センター運営審議会(山村開発センター)

20日 福島県町村議会正副議長・事務局長研修会(福島市ホテル福島グリーンパレス)

★9月

21日 例月出納検査(議員控室)

23日 産業常任委員会(ユール矢祭)

28日 中央公民館建設検討委員会第2回委員会(中央公民館他)

29日 総務常任委員会(議員控室)

市町村対抗福島県大会合同結団式(第一会議室)

2日 議会運営委員会(議員控室)

3日 矢祭町交通対策協議会(山村開発センター)

5日 全員協議会(議員控室)

9～13日 第7回町議会定例会(議場)

9日 総務常任委員会(議員控室)

10日 産業常任委員会(議員控室)

12日 決算特区別委員会(第一会議室)

16日 敬老会(ユール矢祭)

★10月

18日 中央公民館建設検討委員会第3回委員会(中央公民館他)

20日 例月出納検査(議員控室)

21日 ふるさと人づくり講演会(ユール矢祭)

24日 矢祭・大子交通安全合同イベント村(大子町)

5日 令和6年度秋季運動会(やまつりこども園)

7日 全員協議会(議員控室他)

16日 総務常任委員会(議員控室)

東白衛生組合第3回定例会(塙町東白衛生組合会議室)

中央公民館建設検討委員会第4回委員会(中央公民館)

19日 並木丘祭(矢祭中学校)

20日 消防団秋季検閲(矢祭中学校)

21日 例月出納検査(議員控室)

控室)

22～23日 町村監査委員全国研修会(東京都)

24日 令和6年度第3回東白川地方町村議会議長会定例会(棚倉町)

25日 町村議会議員研修会(郡山市ビッグパレットふくしま)

26日 学習発表会(矢祭小学校)

なかの東北絆まつり(東京都)

28～31日 定期監査(議員控室他)

請願・陳情について

請願、陳情はその取扱いを議会運営委員会で協議します。12月定例会に請願、陳情をされる方は令和6年11月25日までに提出願います。

議会状況の録画配信をご覧ください

9月定例会の議会の様子を町ホームページで録画配信していますのでご覧ください。



行事&お知らせ

情報局

案内

マイクログリッチで より安心

令和4年6月1日に「改正動物愛護管理法」が施行され、ペットシヨップやブリーダー等は、販売する犬や猫へのマイクログリッチの装着と情報の登録が義務になりました。

一般の飼い主については、マイクログリッチの装着は努力義務ですが、装着した場合には、情報の登録は義務になります。また、ペットシヨップ等から購入したり、人から譲り受けた犬猫に既にマイクログリッチが装

着されている場合には、所有者情報を変更登録（更新）する義務があります。

メリット 保護された時に身元の確認ができます（迷子）／災害時にはぐれても飼い主の元へ帰る確率が高くなります（災害）／番号の改ざんや消去はできません（盗難）／スムーズに短い時間で出入国できます（検疫）

装着方法 動物病院で注射器のような専用のインジエクターを用いて皮下に装着（痛みは通常の注射と同じくらいと言われています）

費用 数千円（装着は病院で行い、費用は病院によって異なります）

※装着しただけでは、飼い主の情報は分かりませんので、飼い主情報の登録を必ず行いましょう。登録手数料はオンライン申請の場合400円、紙申請の場合1,400円です。

問合わせ 福島県動物愛護センター ☎024・953・6400

個人事業税は、個人で事業を行っている方に課税される県の税金です。

今年度の第2期分の納期限が12月2日（月）となっておりますので、送付された納付書により、忘れずに納期限までに納めてください。

また、口座振替を利用されている方は、納期限までに預金残高の確認をお願いします。

問合わせ 福島県南地方振興局県税課課税課税第一チーム ☎0248・23・1517

自賠責保険・自賠責共済のご案内

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和5年の交通事故発生件数は約30万件、死傷者数は約36万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっております。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての車・バイク一台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保すること、被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の救済を目的としています。

なお、自賠責保険・共済未加入での運行は法令違反ですので、ご注意ください。

特に車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

詳しくは、国土交通省のホームページをご覧ください。

令和4年6月1日に「改正動物愛護管理法」が施行され、ペットシヨップやブリーダー等は、販売する犬や猫へのマイクログリッチの装着と情報の登録が義務になりました。

一般の飼い主については、マイクログリッチの装着は努力義務ですが、装着した場合には、情報の登録は義務になります。また、ペットシヨップ等から購入したり、人から譲り受けた犬猫に既にマイクログリッチが装

問合わせ 福島県動物愛護センター ☎024・953・6400

自賠責保険・自賠責共済のご案内

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和5年の交通事故発生件数は約30万件、死傷者数は約36万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっております。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての車・バイク一台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保すること、被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の救済を目的としています。

なお、自賠責保険・共済未加入での運行は法令違反ですので、ご注意ください。

特に車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

詳しくは、国土交通省のホームページをご覧ください。

問合わせ 福島県南地方振興局県税課課税課税第一チーム ☎0248・23・1517

自賠責保険・自賠責共済のご案内

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和5年の交通事故発生件数は約30万件、死傷者数は約36万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっております。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての車・バイク一台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保すること、被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の救済を目的としています。

なお、自賠責保険・共済未加入での運行は法令違反ですので、ご注意ください。

特に車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意ください。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

詳しくは、国土交通省のホームページをご覧ください。

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員連合会では、12月10日（世界人権宣言採択日）の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、各地

で世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重施行の普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等を開催するほか、テレビ・ラジオなど各種マスメディアを利用した集中的な啓発活動を行っています。

問合わせ みんなの人権 110番 ☎0570・003・110／子どもの人権 110番 ☎0120・007・110／女性の人権ホットライン ☎0570・070・810／外国語人権相談ダイヤル ☎0570・090911

これまでどおりの医療をあなたに

今年の12月2日に、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行します。

切り替えがまだお済でない方も申請不要で届けられる資格確認書で保険診療を受けられます。ご安心ください。

また、今持ちの保険証は、有効期限まで最大1年間、利用できます。

有効期限が切れる場合でも、必要な方には資格確認書が交付されます。

なお、マイナ保険証をお持ちでない方、新たに後期高齢者になった方には、申請不要で資格確認書をお届けします。また、マイナ保険証での受診が困難な方には、申請いただくことで資格確認書をお届けします。

診療履歴に基づいたより良い医療が受けられるなど、便利で安全なマイナ保険証への切り替えをご検討ください。

詳しくは『政府広報マイナ保険証』をご確認ください。

消防分署からのお願い

秋の火災予防運動が、11月9日から11月15日までの7日間にわたり、全国一斉に実施されます。大切な家族や自分の命、そして財産を火災から守るために住宅用火災警報器や住宅用消火器の設置及び点検を行いましょ。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

【4つの習慣】

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③コンロを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

【6つの対策】

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

●町内火災・救急件数
(令和6年1月1日～10月15日)

火災件数 2件
救急出動 184件

「火事・救急・救助は119番」
問 棚倉消防署矢祭分署
☎46-2119



人の動き

10月1日現在の住民基本台帳より
()内は前月比

人口	5,187人 (-9)
男	2,569人 (-2)
女	2,618人 (-7)
世帯	2,111世帯 (-1)

●赤ちゃん誕生おめでとう (敬称略)

赤ちゃんの名前	性別	保護者	地区
永山 蓮	10/13	信也・百子	小田川
菊池 海衣	10/18	好峰・真由美	戸塚

●お悔み申し上げます (敬称略)

亡くなられた方	籍	届出者	没月日	地区
古張 浩	95	成子	9/30	関岡
齊藤 勝明	79	操	10/2	宝坂
金澤タイ子	91	剛	10/2	下関河内
中井 美子	72	古市健吾	10/6	下関河内
班目 榮子	93	良平	10/12	中石井
菊池みゑ子	83	泰久	10/13	内川
高信 充良	84	三代	10/16	館本

●今月の納税

固定資産税 ▶ 4期
国民健康保険税 ▶ 6期
介護保険料 ▶ 6期
後期高齢者医療保険料 ▶ 4期
納期限 (口座振替日) ▶ 12月2日 (月)

水道使用料 ▶ 9月～10月分
納期限 ▶ 12月2日 (月)
口座振替日 ▶ 11月25日 (月)

●あとがき

今年も11月を迎え、厳しい暑さも和らぎ、過ごしやすい気候となる中、レジャーや観光を楽しむ季節となっています。矢祭山の紅葉も少しずつ色づき始める頃ですので、皆様にもぜひ注目していただきたいと思います。

また、今月号にはやまつりこども園の秋季運動会を掲載させていただきました。子どもたちの元気な姿を誌面に掲載しましたのでご覧ください。 (悠)

■ 今月の一冊 ～わたしの好きな絵本～

『エゾオオカミ物語』



作 ▶ あべ弘士 出版社 ▶ 講談社

対象 ▶ 小学校低学年～

それは、たった 100 年前
のことでした…

北海道にいたエゾオオカミが、この世からいなくなったのは、約 100 年ほど前のこと。動物絵本の第一人者あべ弘士先生が、人間と動物の歴史を静かに語ります。紹介文／講談社 BOOK クラブ (矢祭もったいない図書)



矢祭町長 佐川 正一郎

▶ 秋も深まり紅葉の季節です。滝川溪谷や、矢祭山公園へお出かけください。第 78 回読書週間が 10 月 27 日から 11 月 9 日までの期間で読書イベントが各地で開かれています。今年の読書標語は、“この一行に逢いにきた”です。この一行との出会いは大切なことです。11 月にご紹介する絵本は、大変お世話になっている動物絵本作家あべ弘士先生の“エゾオオカミ物語”です。北海道の雄大な自然の中で、生きたエゾオオカミのお話です。自然の中で生きるには、共生しながらの行動やバランスの必要性が大事だと思います。そして、私たち人間も自然との関りを大切にしなければならぬことがこの絵本から学ぶことができます。また、文明の発展とともに動物達の生態の変化に気づきます。読書の秋に子ども達が読んで欲しい絵本です。

11 月 情報カレンダー

* 新型コロナウイルス感染症の影響により、
変更となる可能性があります。

[省略]

○…当番医 山開…山村開発センター 館山…館山荘
埴…埴厚生病院 ユ…ユーパル矢祭 保セ…保健福祉センター

日	月	火	水	木	金	土
3 ○深谷クリニック ☎33-3223	4 ○車田病院 ☎43-1019	5  ●カンガルーくらぶ	6 ●6か月児・10か月児健康相談 保セ (9:30～9:45) ●マミーサロン 保セ (10:00～15:00) ●カンガルーくらぶ	7	8  ●カンガルーくらぶ	9 ●自分で血糖チェックセミナー① 保セ (10:00～11:00)
10 ○おおひら整形外科クリニック ☎33-9468	11 ●心の相談会 保セ (13:00～16:00) ●3か月児健康診査 埴 (13:00～13:15) ●カンガルーくらぶ	12 ●カンガルーくらぶ	13 ●カンガルーくらぶ	14 	15 ●カンガルーくらぶ	16  ●カンガルーくらぶ
17  ○埴厚生病院 ☎43-1145	18	19  ●カンガルーくらぶ	20 ●マミーサロン 保セ (10:00～15:00) ●カンガルーくらぶ	21	22  ●カンガルーくらぶ	23 ○木村医院 ☎46-3528
24 ○あらまちクリニック ☎33-8018	25 ●家族の相談会 保セ (13:00～16:00) ●カンガルーくらぶ	26 ●カンガルーくらぶ	27  ●カンガルーくらぶ	28 ●2歳児歯科健診・歯科クリニック 保セ (13:00～13:10)	29 ●カンガルーくらぶ	30 ●自分で血糖チェックセミナー② 保セ (10:00～14:30)
12/1 ○つちやクリニック ☎43-2250	2 ●心の相談会 保セ (13:00～16:00) ●カンガルーくらぶ	3  ●カンガルーくらぶ	4 ●6か月児・10か月児健康相談 保セ (9:30～9:45) ●マミーサロン 保セ (10:00～15:00) ●カンガルーくらぶ	5	6  ●カンガルーくらぶ	7 ●自分で血糖チェックセミナー③ 保セ (10:00～11:00)